

**平成27年度  
第2回松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会会議録**

平成27年度第2回松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会が、平成27年7月17日、午後2時00分、塩尻総合文化センター講堂に招集された。

**会 議 次 第**

1 開 会

2 会長あいさつ

3 協議事項

- (1) 平成28年度から使用する中学校教科用図書の選定について
- (2) 情報開示日の基本的な考え方

4 その他

5 閉 会

○ 出席委員

|  |           |
|--|-----------|
| 会 長 (塩尻市教育委員長)                                   | 小 澤 嘉 和   |
| 副会長 (松本市教育長 (兼) 松本市山形村朝日村中学校組合<br>教育長)           | 赤 羽 郁 夫   |
| 副会長 (安曇野市教育委員長)                                  | 唐 木 博 夫   |
| 副会長 (朝日村教育委員長)                                   | 上 條 利 春   |
| 監 事 (松本市教育長職務代理者 (兼) 松本市山形村朝日村<br>中学校組合教育長職務代理者) | 斉 藤 金 司   |
| 監 事 (安曇野市教育長)                                    | 橋 渡 勝 也   |
| 委 員 (塩尻市教育長 (兼) 塩尻市辰野町中学校組合教育長)                  | 山 田 富 康   |
| 委 員 (生坂村教育長)                                     | 藤 澤 光     |
| 委 員 (筑北村教育委員長)                                   | 久 保 田 茲 朗 |
| 委 員 (筑北村教育長)                                     | 宮 下 敏 彦   |
| 委 員 (塩尻市辰野町中学校組合教育委員長)                           | 小 野 貢     |
| 委 員 (麻績村筑北村学校組合教育委員長)                            | 市 川 祥 介   |
| 委 員 (麻績村筑北村学校組合教育長)                              | 飯 森 力     |
| 委 員 (松本市校長会長)                                    | 太 田 宏     |
| 委 員 (松本市校長会副会長)                                  | 小 幡 泰 俊   |
| 委 員 (塩尻市・東筑摩郡地区校長会長)                             | 三 澤 正 彦   |
| 委 員 (塩尻市・東筑摩郡地区校長会副会長)                           | 櫻 井 隆 夫   |
| 委 員 (安曇野市校長会長)                                   | 藤 松 伸 二 郎 |
| 委 員 (安曇野市校長会副会長)                                 | 遠 藤 正 志   |
| 委 員 (松本市保護者代表)                                   | 平 塚 綾 子   |

|                |       |
|----------------|-------|
| 委員 (塩尻市保護者代表)  | 渡辺美佐登 |
| 委員 (安曇野市保護者代表) | 山本佐知子 |
| 委員 (松本市学識経験者)  | 征矢野達彦 |
| 委員 (塩尻市学識経験者)  | 木下留美子 |
| 委員 (東筑摩郡学識経験者) | 藤澤陽子  |
| 委員 (安曇野市学識経験者) | 内田洋子  |

○ 欠席委員

|                |      |
|----------------|------|
| 委員 (生坂村教育委員長)  | 腰原茂文 |
| 委員 (東筑摩郡保護者代表) | 洞 信夫 |

○ 出席協議会調査研究委員

国語科調査研究委員長  
 社会科調査研究委員長  
 数学科調査研究委員長  
 理科調査研究委員長  
 音楽科調査研究委員長  
 美術科調査研究委員長  
 保健体育科調査研究委員長  
 技術・家庭科調査研究委員長  
 英語科調査研究委員長

○ 事務局出席者

|                   |       |
|-------------------|-------|
| こども教育部次長(兼)教育総務課長 | 青木 実  |
| 教育総務課長補佐(兼)学校支援係長 | 太田 文和 |
| 学校支援係主事           | 丸山 敏明 |

1 開会

**青木こども教育部次長(兼)教育総務課長** 皆さん、こんにちは。

定刻となりましたので、これより平成27年度第2回松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会を開会いたします。私、事務局、塩尻市の教育総務課長の青木でございますけれども、議事に入りますまで進行を務めさせていただきますのでよろしく願いいたします。

2 会長あいさつ

**青木こども教育部次長(兼)教育総務課長** 初めに、当協議会の小澤会長から御挨拶をお願いいたします。よろしく願います。

**小澤会長** こんにちは。台風による雨風が気にかかる中であります。御参集いただきありがとうございます。

いよいよ当地区の中学校教科書選定日がやってまいりました。各教科書会社が情熱を込めてつくられた真新しい教科書を開いたとき、子供たちが一つ一つの資料や文字を食い入るように、そして気持ちを高めながら学習している様子が目に浮かびます。こうしたとき、選定に当たる私たちの気持ちも高揚してまいります。子供たち、保護者、地域の方々、そして学校の教職員から教えがいの

ある教科書、読んでみて楽しい教科書、そんないい教科書を選んでくれたとの評価がいただけるような選定でありたいと願っております。さらには、当地区にとって最もふさわしい教科書のよさをこの場でお互いに共有する、そんな場でありたいとも思っております。

本協議会に資料を提供してくださいました各教科調査研究委員の皆様方には、心から感謝を申し上げます。1カ月間はまさに全力を傾けてのお仕事であったと推察いたします。また、本日ここに委員の総意のもとに情熱を持って発表してくださる委員長さん方には、思いのたけを存分に発揮していただきたくお願いいたします。本協議会委員の皆さんは、調査委員長さんの心をもいただきながら選定に当たってくれるものと思われまふ。本日は長丁場になると思われまふけれども、よろしくお願いいたします。ありがとうございます。

**青木こども教育部次長(兼)教育総務課長** ありがとうございます。それでは、お手元に会議次第と書かれた資料があるかと思ひますが、おめくりいただきまして、1ページに協議会委員名簿を添付してござひます。その中で、前回の第1回協議会のときに空席でありました松本市山形村朝日村中学校組合の教育長につきまして、松本市教育長の赤羽郁夫副会長が兼ねることとなりましたので、この場で御紹介をさせていただきます。

それから、本日ですけれども、生坂村教育委員長の腰原委員、東筑摩郡保護者代表の洞委員のお二人から欠席の連絡を受けておりますので、あわせて御報告させていただきます。

それでは、当協議会規約第8条第1項に基づきまして、議長を小澤会長にお願いしまして、以降の進行をよろしくお願いいたします。

**小澤会長** 本日の議事が円滑に運びますように御協力をお願いいたします。

初めに、本日の協議会の成立を確認いたします。本日の協議会委員の出席状況は、28名のうち26名ですので過半数を超えております。したがひまして、当協議会規約第8条第2項の規定によりましてこの会議が成立しておりますので確認させていただきます。

協議事項に入る前に、事務局から説明がありますのでお聞きください。

**太田教育総務課長補佐(兼)学校支援係長** 塩尻市教育委員会教育総務課課長補佐の太田と申します。よろしくお願いいたします。

初めに、本日の配付資料について確認をお願いいたします。1つ目に会議次第と書かれた資料があります。それから、あと事前に郵送させていただいた資料ですが、右上に資料1と書かれた松塩筑安曇地区の調査研究結果報告書の冊子となります。そのほかに郵送いたしました県教育委員会作成の教科用図書の採択に関する選定資料と県の選定審議会議事録ですね、こちらもお持ちいただいた方もいらっしゃるかと思ひますが、県の関係の資料につきましては、本日特に使用予定はありませんのでよろしくお願いいたします。

次に、もう1点ですが、教科書展示会について御報告させていただきます。皆様には文書でお知らせいたしましたが、教科書の展示会が、6月30日から7月20日までの間、安曇野市中央図書館、それから7月7日から7月26日までの間、松本市立図書館でそれぞれ開催されております。このうち、松本市立図書館の会場からは、教科書にかかわる7通のアンケートが寄せられてござひまして、その中で参考になる御意見についてお伝えさせていただきたいんですが、まず40代会社員、50代の教育関係者、それから60代の主婦の方ですね、それぞれ女性の方ですけれども、社会の公民についてですね、育鵬社それから自由社の教科書は、「戦前の日本がよかったと思わせるような内容である」や、「他国の社会制度も学ばせるべきである」や、「間違つた認識を持つてしまう」など、「問題があると感じる」というような回答がありました。また、30代会社員の男性の方からですが、社会の歴史についてです。「自由社の教科書は、言葉の使い方が慎重で適切である」。それから、教科書全般についてですが、「全体的にアニメのキャラクターが多用されてひいて、中学生向けに

しては少し子供っぽい印象を受けた」というような回答がありました。こちらをまた参考までに報告させていただきます。以上でございます。

**小澤会長** ただいま事務局から説明があった事柄について、御意見等ございますでしょうか。なしということであります。

### 3 協議事項

#### (1) 平成28年度から使用する中学校教科用図書の選定について

**小澤会長** では、協議事項に移ります。協議事項(1)平成28年度から使用する中学校教科用図書の選定について御協議いただきます。

初めに、円滑な協議を図るため、あらかじめ協議の方法等について確認しておきたいと思います。

まず、お諮りいたします。教科用図書の選定に当たりましては、教科ごとに行うこととし、調査研究委員長の報告を受けた後、協議の上、選定をするというプロセスで行いたいと思いますけれども、いかがでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

**小澤会長** ありがとうございます。

次に、資料1の調査研究結果報告書についてであります。こちらには、調査研究の対象となった教科書の全ての報告書がついております。報告につきましては、各教科の委員長から調査研究結果の評価が高い教科書にウエートを置いて報告をしていただき、協議をするという形をとりたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

**小澤会長** 異議なしということを確認、そのようにさせていただきます。委員長さんは、全体を満遍なく行うのではなく、全体にも触れながら、評価の高いものを中心に報告をするということでお願いいたします。また、次第と書かれた資料の2ページには、過去の当地区の採択教科書一覧を添付してありますので御参考になさってください。

では、資料1の報告書の掲載順、これは長野県教育委員会の選定資料と同じ順番であります。これに従って教科ごとに報告をお願いいたします。時間の都合もございますので、報告を含めて10分程度で協議をいただきたいと思います。委員長さん、御協力をお願いいたします。

初めに、国語から報告をしていただきます。調査研究委員長さんには自己紹介をしていただいた後、報告をお願いいたします。国語は、5社から教科書見本が送付されております。では国語科、よろしくお願ひいたします。

**国語科調査研究委員長** よろしくお願ひいたします。

まず、調査研究する上で重視した3点についてお話しをします。まず第1に、教科書が学習への意欲・関心を促すようなものになっているかという点です。授業においても、みずから興味や関心を持って課題に向かえる内容であるか検討をいたしました。2つ目は、みずから疑問を持ち、主体的に追究していく学習に展開させていくことが可能な内容かどうかという点であります。そして、3つ目に重視した点は、学習活動を通して伝える力や思考力、人物の心情を想像する力を高めていくことが可能な配慮や構成になっているかという点です。以上の3つの視点を重視して検討してまいりました。

では最初に、2社の特色について報告させていただきます。4ページをごらんください。教育出版の教科書は、友達と協力して学習活動を行うことが中心に据えられています。他の生徒の考えを理解し、さらに深く追究する姿勢を育てていこうという配慮がされています。

次に、3ページをごらんください。三省堂の教科書は、生徒の発達段階や学年の特性、行事等、

季節感などが考慮され、理解しやすい教材が配列されている点が特色です。

それでは次に、3社について報告させていただきます。最初に、2ページをごらんください。学校図書の全体的な特徴は、どの単元も話すこと・聞くこと、書くこと、読むことという各領域の学習の調和がとれている点です。また、生徒同士が交流しながら学習することが主軸になるように設定され、思考力・判断力・表現力を高めることができるように配慮されています。

次に、観点に沿った説明に入ります。まず、2-（1）についてです。各単元には、生徒が読みやすい教材から配置されており、さらに分量や難易度、分野を考慮した選択教材が設けられています。生徒の実態に応じた学習活動ができるようになっています。

次に、2-（3）についてです。単元の初めに、生徒自身が読み進めながら内容を理解できるように、教材にかかわるコラムがあったり、場面展開に沿った問いが示されたりしています。さらに、各教材の最後には「学びの窓」という欄が設けられ、表現や主題にかかわる課題が提示されています。段階的に理解が深まり、主体的に学べるように工夫されています。

続いて、1ページをごらんください。東京書籍の第1の特徴は、各単元において「言葉の力」という欄が設けられている点です。この単元でどのような力をつけたいのかが明確になるよう工夫され、どのように学習を進めるかを教師も生徒も明確にすることができます。

次に、観点に沿った説明に入ります。2-（2）についてです。読みやすく親しみやすい、生徒の心に響くと思われる教材、例えば等身大の少年少女を描いた重松清さんの「卒業ホームラン」などが配置されています。そのほか読み応えのある名作、社会のさまざまな課題に向き合える文章、伝統文化に関する題材が各学年バランスよく配置されています。続いて、2-（3）についてです。巻頭の折り込みに各教材の学習の狙いや進め方がわかりやすく示され、1年間の学習の見通しを持ちやすくなっています。また、さまざまな読み比べや課題解決的な言語活動が用意されており、生徒が学習意欲を高めていけるような配慮がされています。

最後に、5ページをごらんください。光村図書の第1の特徴は、練習教材と本教材が配置されている点です。練習教材によって学習のポイントや進め方を学び、本教材では自分の力で追究していくという過程を繰り返せます。このようなプロセスを重ねるうちに次第に力をつけることができるとともに、学習の進め方に習熟していくこともできるというよさがあります。

第2の特徴は、適切な文字の大きさ、字体、字間、行間で表記されており、用途に応じた線や文字色などが工夫されています。色の使い方も色覚を配慮されたものになっており、発達障害を持つ生徒にとっても落ち着いて学習に入っていくやすくなっています。この点は、他者と比較しても差が見られる点です。

続いて、観点に沿った説明に入ります。2-（2）についてです。聞くこと・話すこと、書くことの領域においては、日常生活、学校生活などに題材をとり、より切実感や必要感のある教材が選定されています。発達段階に合った言語活動が展開できるように工夫され、大変適切にバランスよく配置されています。続きまして、2-（3）についてです。それぞれの教材に、「確認しよう」、「読み深めよう」、「自分の考えを持とう」という3点が示され、3つのステップで学習が進められるようになっています。さらに、「学習を振り返る」という欄が設けられ、身に付けた力を振り返る観点や、生活に生かす例が示されています。このように、学習の手順を示すことを光村図書は特に丁寧に行っていると思います。

以上、5社について説明してまいりました。調査研究委員会では、自分の力で学習を深めていける、そんな点が丁寧な構成になっているという点を特に評価し、国語の教科書として光村図書を推薦させていただきます。以上でございます。

**小澤会長** ありがとうございます。国語の報告をいただきました。これから質問等をいただきます

けれども、質問される場合には、まずお名前を述べてから御発言をお願いいたします。では、国語科に対して御質問、御意見等ありましたらお寄せください。

委員長のほうから、端的に、的確に説明していただきました。質疑、終結してよろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

**小澤会長** では、質疑を終結し、選定に移ります。

国語科は、光村図書の教科書を選定するという点でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

**小澤会長** 異議なしと認め、国語は光村図書の教科書を選定することといたします。

引き続き、書写の報告をお願いいたします。書写は、5社から教科書見本が送付されております。委員長さん、引き続きお願いします。

**国語科調査研究委員長** 書写の教科書を調査する上で重視した点について、まずお話しをします。日本の文字について興味・関心を持ち、文字を書くことを意識できるような内容になっているかという点を重視しました。

では、最初に2社の特色について報告させていただきます。まず、8ページをごらんください。三省堂は、自分の課題にまず気づき、考えて学習して技能を高めていくというらせん的な学習の過程が生まれ、自分の文字や書き方をよりよくしていけるように配慮されています。

次に、7ページをごらんください。学校図書は、試し書き、練習、作品制作までの流れが視覚に訴えるように配置され、生徒がみずから自分の課題を解決していけるように配慮されています。

それでは次に、3社について報告させていただきます。最初に、6ページをごらんください。東京書籍の特徴は、毛筆と硬筆を関連させて学び、獲得した文字の知識や技能を生活に生かすように配慮されている点にあります。

次に、観点別に述べさせていただきます。2－(2)についてです。生徒が文字を書く際、つまづきをみずから乗り越えるために、「書くときのポイント」という欄が設けてあります。生徒がポイントを理解し、練習できるように配慮されています。次に、2－(3)についてです。先ほどの特徴でも触れましたが、「好きな言葉を書こう」、「職場体験に向けて」といった生徒の日常生活に関連した単元を多く取り入れ、身の回りにある文字と書写の時間で学んだ知識とを結びつけられるような配慮が適切にされています。

最後に、3－(4)についてです。作品がどのような仕上がりになるかを挿絵や写真で例示しており、生徒と教師がどのような作品を目指せばよいかを理解できるように配慮されています。

次に、9ページをごらんください。教育出版の特徴は、選択教材、補充教材、発展教材という3つの段階が設けられ、一人一人が学習を主体的に進められるように配慮されている点にあります。

次に、観点別に述べさせていただきます。2－(3)についてです。「学校生活に生かして書く」という単元が設けられ、手紙や封筒、原稿用紙や入試志願理由書の書き方など、生徒に身近な書式教材が取り上げられています。生徒の発達段階や言語環境に応じて親しみやすく学習できるように配慮されています。続いて、2－(4)についてです。手本に示された図版の文字は大変鮮明で、濃淡もはっきりしています。カラーユニバーサルデザインの認証を受けており、判読しやすい配色やレイアウトです。また、1つの見開きで必要な情報が全て見渡すことができる構成になっています。

最後に、3－(3)についてです。国語で学んだ文章を正しく美しく書くことができるように、教科書の文学や古典の作品を取り上げています。例えば、金子みすゞさんの「ふしぎ」という詩や、「竹取物語」や「枕草子」の冒頭などです。ポスターや新聞など身近な教材や祝儀袋の表書きなど、

日常生活に生かすことまで広げる工夫がされています。

最後に、10ページをごらんください。光村図書の第1の特徴は、基礎編という部分に筆の握り方、点画の種類と筆使いなど、小学校で学んだ事柄がまとめられており、十分に身につけていない生徒への指導など、必要に応じて内容を見返したり復習したりすることができるように配慮されている点にあります。

続いて、観点別に述べさせていただきます。2-（2）についてです。まず、字を書く前に問いかけの欄があります。文字の特徴や注意点、文字の原理や運筆のきまりを実際に書き込むようになっています。生徒自身が自分の課題を明らかにしながら練習し、基礎的、基本的な技術などを自ら習得できるような構成です。これは、他社にはない、光村図書の特筆すべき配慮点です。次に、2-（3）についてです。資料編に「日常の書式」、「活用のヒント」という欄を設け、手紙やレポート、リーフレットの書き方など、日常生活に役立つ資料が載せられています。身の回りの文字そのものや文字についての文化について、関心を高めるような工夫がされています。

最後に3-（3）についてです。学校の諸活動や生活に生かせる言語活動例、コラムが適所に織り込まれています。コラムの中に、「先人の文字に学ぶ」という欄があり、最澄などすぐれた筆跡を紹介したものや、「手書きの力」と題して谷川俊太郎さんのエッセイと文字が紹介されており、生徒の主体的な学習を促す刺激になっています。

そのほか、全体を通して目的に沿って整理された資料がたくさん載せられており、書写の学習に際して、必要ときに生徒自身で活用できるように大変配慮されています。

以上、5社について説明してまいりましたが、調査研究委員会では、自分の力で学び、整った文字が習得できるように構成されているという点を特に評価し、書写の教科書として光村図書を推薦させていただきます。以上でございます。

**小澤会長** ありがとうございます。ただいま、書写の報告をいただきました。御質問等、お寄せください。

委員長からの説明に対して、御質問、よろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

**小澤会長** 質疑を終結し、選定に移ります。

書写は、光村図書の教科書を選定することでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

**小澤会長** 異議なしと認め、書写は光村図書の教科書を選定することといたします。委員長さん、ありがとうございます。

続いて、社会科の報告をいただきます。初めに、地理的分野です。地理的分野は、4社から教科書見本が送付されております。委員長さん、よろしく願いいたします。

**社会科調査研究委員長** よろしく願いします。

地理的分野の研究報告に先立ちまして、全体についてお話をしたいと思います。

社会科は、全部で21冊の教科書や地図帳を調査しました。この1カ月間、私を除く11名の社会科の委員は、普段の勤務や部活動指導の合間を縫って、生徒たちや先生方の目線に立って調査研究を進めてまいりました。その結果を私が代表して発表いたします。

社会科研究委員会としまして、次の3点に重きを置いて検討させていただきました。1点目は、生徒が教科書を通して社会的な事象について興味・関心を持って、生徒自身の追究が深まることができるものであるか。2点目は、若い先生から経験豊富な先生まで、どの先生も毎日の授業の中で問題解決的な学習の実践や教科書を活用しての学習を行うことができるものであるか。3点目は、今回は学習指導要領の改訂はありませんでしたが、採択基準に基づいて特色ある工夫がなされてい

るか。これからの全ての分野について、これを重きを置いて検討させていただきました。

それでは、地理的分野の教科書について研究報告させていただきます。地理的分野は、4社について研究させていただきました。

まずは、2社について報告します。教育出版のすぐれている点を報告します。12ページを参照ください。授業の流れや学習の見通しをつかみやすいように、1時間の授業を見開き2ページで構成し、導入となる資料の配置とキャラクターの問いから学習が展開していけるよう適切な工夫がされています。例は、教科書28ページ、「草原の中のゲル」です。

次に、日本文教出版のすぐれている点を報告します。14ページを参照ください。本文に関係する図版番号を記して関連を明確にしたり、「言語活動コーナー」で図版の内容を読み取らせたりすることで、生徒が学習の成果を実感できる大変適切な構成になっています。例は、教科書32ページ、「『読み取ろう』熱帯気候の広がっているのは」であります。

次に、残りの2社、帝国書院と東京書籍について報告します。まずは、帝国書院です。13ページを参照ください。4点が特にすぐれているということで、そのうちの2点について報告します。

1点目は、人々の営みの様子が、写真や現地に住む人の話「声」のコーナーで紹介されているなど、興味・関心を持って追究できるよう、大変適切な配慮がなされています。例は、教科書246ページ、「『声』さくらんぼ農家の話」です。

2点目は、日本の諸地域の学習の各節末に特設されたコラム「地域を探ろう」や「羅針盤マーク」では、現代の諸地域を取り巻く動向や課題への取り組みが捉えられるよう大変適切な工夫がされています。例は、教科書213ページ、「防災 富士山の噴火や地震に備えて」です。

次は、東京書籍です。11ページを参照ください。6点が特にすぐれているということで、そのうちの4点について報告します。

1点目は、見開き2ページで1単位時間を原則にし、豊富な資料とともに写真や文字の鮮明さ、文字の大きさや書体に留意し、見やすく印象的で読みやすい紙面構成になるよう大変適切に配慮されています。例は、教科書164ページ、165ページ、「日本の農林水産業」です。

2点目は、環境破壊や地球環境問題、さまざまな発電方法の特色や課題を取り上げる「深めよう」や「地理にアクセス」を設け、課題意識が高まるよう大変適切な配慮がなされています。例は、教科書170ページ、171ページ、「『深めよう』さまざまな発電方法の特徴と課題」です。

3点目は、興味・関心を喚起する導入資料、学習の目当てを示す「学習課題」、丁寧でわかりやすい本文、学習内容をまとめる「確認」の流れで構造化し、学習内容が確実に定着するよう大変適切に配慮されています。例は、教科書180ページ、181ページ、九州の導入の部分であります。

4点目は、諸地域の学習では、基本情報を押さえる概観部、テーマに沿って学習を進める展開部、特色をまとめる終結部の段階に分け、目的意識を持って地域的特色を学習できるように大変適切な配慮がなされています。例は、これも同じく教科書180ページから190ページ、九州地方のところであります。

特に3点目、4点目につきましては、他社よりも、どの生徒にとってもしっかりと課題把握ができ、興味・関心を持っての追究活動、見届けができる流れになっている点で高い評価となりました。また、全体を通して読み取る観点を適切に示し、思考力や判断力を身につけられるよう大変適切な配慮がなされている点も高く評価しました。

以上、特にすぐれている点が他社よりも多いこと、生徒が興味・関心を持って追究活動ができる教科書であるという点からも、地理的分野につきましては、東京書籍を推薦したいと考えました。以上です。

**小澤会長** ありがとうございます。地理的分野の報告をいただきました。質問等をいただきます。

お願いします。

**木下委員** 木下です。よろしくお願いいたします。せっかく書き出してきたので、ちょっと意見を。東京書籍さんなんですけれども、180ページのところに都道府県の名称とかお国自慢などが書いてありまして、比較で、それが大変おもしろかったなと思います。それと、ほかにもあるんですけれども、79ページに、ケニアで日本の上総掘りの井戸ということで、開発途上の国の水源を、井戸をつくって子供たちにきれいな水を提供するというのも書いてありまして、大変よかったです。以上です。

**社会科調査研究委員長** ありがとうございます。

**小澤会長** 具体的に指摘していただいて、ありがとうございます。

質疑、終結してよろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

**小澤会長** 選定に移ります。

社会科（地理的分野）は、東京書籍の教科書を選定するというのでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

**小澤会長** 異議なしと認め、社会（地理的分野）については、東京書籍の教科書を選定することいたします。

続いて、歴史的分野の報告をお願いいたします。歴史的分野は、8社から教科書見本が送付されております。委員長さん、引き続きよろしくお願ひします。

**社会科調査研究委員長** それでは、お願いします。歴史的分野では、8社の教科書を研究させていただきました。最初は、6社についてのすぐれている点を報告します。

1社目は、教育出版です。16ページを参照ください。本文中の資料番号で資料とのつながりを示したり、歴史上の人物についてマークを工夫し、小学校における学習とのつながりを表わしたりするなど、指導の利便性が図られるよう大変適切に工夫されています。例は、教科書58、59ページ、「一所懸命の戦い」です。

2社目は、清水書院です。17ページを参照ください。特設ページ「歴史のとびら」を設け、史料の扱い方や読み取り方、歴史研究における留意点が示され、生徒が主体的に調査活動に取り組むことができるよう、十分に工夫されています。例は、教科書174ページ、175ページ、「世界見学に出かけた日本人」です。

3社目は、日本文教出版です。19ページを参照ください。本文は1時間で見開き2ページとなっており、「学習課題」の設定と「学習の確認と活用」の提示により、授業展開や追求の見通しが把握できるよう大変適切に配慮されています。例は、教科書18、19ページ、「導入資料」、「学習課題」、「本文」、「学習の確認と活用」という流れになっています。

4社目は、自由社です。20ページを参照ください。我が国を中心として、近隣諸国を含めた歴史的関係について、歴史的背景や当時の社会情勢について詳しく記述され、生徒が主体的に考えられるよう適切に配慮されています。例は、教科書232ページ、「日本と中国はなぜ和平を実現できなかったのか」です。

5社目は、育鵬社です。21ページを参照ください。歴史的事象を自分ごととして捉え、歴史の連続性の中に自分があることを認識させる「歴史の旅を始めよう」、「歴史の旅の終わりに」を設け、歴史に対する理解と愛情が深まるよう適切に構成されています。例は、教科書6ページ、281ページ、「歴史の旅を始めよう」、「歴史の旅の終わりに」です。

6社目は、学び舎です。22ページを参照ください。「歴史への案内」のコーナーが設定され、博物館を使った調査活動の仕方が示され、発展的な学習を行えるよう適切に工夫されています。例は、

教科書140ページ、141ページ、「地域の歴史館で調べる」です。

続いて残りの2社、東京書籍と帝国書院について報告します。まずは東京書籍についてです。15ページを参照ください。東京書籍は、特にすぐれている点が8点あります。そのうち、2点について報告します。

1点目は、見開き2ページの中に、この1時間で学習する課題と、その課題を解決するために必要な豊富な資料、まとめ方の方向が示されており、生徒が目的や見通しを持って学習に取り組めるよう大変適切に構成されています。例は、教科書156ページ、157ページ、「尊皇攘夷運動と開国の影響」です。

2点目は、各時代の導入部分に小学校での学習を振り返る場面を設けて、中学校の学習との系統性を持たせたり、歴史以外の分野と関連させて学習することができるようにしたりするなど、大変適切に構成されています。例は、教科書64ページ、65ページ、「中世の日本『やってみよう』」です。

次に、帝国書院についてです。18ページを参照ください。特にすぐれている点が10点あります。そのうち、4点について報告します。

基本的な用語をわかりやすく説明した解説が54カ所設けられ、解説だけでは理解しづらい用語には図や写真を用いるなど、基本的な用語の定着が図られるよう大変適切に配慮されています。例は、教科書138ページ、『解説』近代の政治体制～図を用いたわかりやすい解説』です。

2点目は、「江戸時代の新田開発（五郎兵衛新田）」、「満州移民（蚕糸王国長野）」など、時代背景と照らし合わせながら郷土の先人たちの知恵や努力などに触れることで、興味・関心を持ちながら歴史的事象を読み取ることができるよう大変適切に工夫されています。例は、教科書118ページ、222、223ページで、「佐久の地図」や「不況を抜け出す満蒙開拓」などが載っております。

3点目は、単元ごとに「導入（タイムトラベル）」、「展開（学習課題・確認しよう・説明しよう）」、「まとめ（学習を振り返ろう）」とわかりやすく配列されており、これらを手がかりに、生徒が歴史を体感しながら主体的に学習に取り組めるよう大変適切に工夫されています。例は、教科書150ページ、151ページ、「黒船来航の衝撃と開国」です。

4点目は、特設「歴史を探ろう」、「トライアル歴史」のコーナーを設け、本文で学習した内容を具体的に深く考えることで、思考力・判断力・表現力の育成を促すことができるよう大変適切に配慮されています。例は、教科書28ページ、106ページ、『特設』歴史を探ろう、トライアル歴史』であります。

さらに、現場の先生や委員から、「単元や1時間の導入部分で学習問題がしっかり持て、学習活動が焦点化され、そのほかで資料を用いて追究が深まるような工夫がなされていて授業がやりやすい」、「社会科の得意な生徒には少し物足りない部分もあるが、社会科の苦手な生徒や勉強の苦手な生徒が進んで学習できるようになっている」という声も聞かれました。

以上の点から、特にすぐれている点も多く、また先生も活用がしやすく、そしてどの生徒も意欲的な追究が可能な点から、歴史的分野では帝国書院を推薦したいと考えました。以上です。

**小澤会長** ありがとうございます。現場の職員の声も寄せてくださいました。質問等、いただきます。お願いします。

**市川委員** 麻績村筑北村学校組合教育委員長の市川と申します。よろしく申し上げます。ただいま、校長先生、大変わかりやすい御説明をいただきましたので、納得をしながら伺っておったんですが、2点ほど質問させていただきます。

1点目は、これは大したことないんですが、版が大きいですね。一回り大きくなって。現在の机で、子供たちがそんなに不便を感じないのかどうか、現場の意向はどうだったのか、もし話題に

なっていたら教えてください。それが1点目です。

2点目は、前回もちょっと申し上げたんですが、小中の一貫性の問題です。これは少子化の中で文科省のほうでも新しい方針が出されておりますので、非常に大事なことだと考えていますが、それ以上に、社会科の基礎、基本を定着させるには、小中の関連をきちっとしていくことが私は大事だと。経験上からも、中学で最初に小学校の教科書と併用して学習を進めると、歴史が嫌いな子供たちもとってもよく食いついてくるんです。小学校でやったこと、そのまま定着しているなんて思うほうが無理で、小学校の先生は小学校で一生懸命やってくさっているんですが、それを中学でね、もう一度きちっと振り返ることが非常に大事なので、その辺がどうなのかっていう点を、今の2社で結構ですので、どんな部分に差をつけたのかもわかりましたら教えていただきたい。以上であります。

**小澤会長** 2点、お願いします。

**社会科調査研究委員長** お願いします。1点目の机の大きさにつきましては、委員のほうからは特別それで困ったということではなく、やっぱり版が大きいほうが非常に見やすくなっていいということで、不具合はありませんでした。

もう1点目の小中の関連につきましては、非常に委員のほうでも、1つは、小学校で教科書をつくっている。また中学でっていう、そういうところを、もしそこをあまり強くしますと、その部分が先に出てしまって、教科書独自のよさっていう部分が弱くなるのではないかとということで、先ほどありましたように、1社の東京書籍のほうが小中連携についてはいいという、先ほど発表したとおりであります。帝国書院のものにつきましては、帝国書院は小学校ではつくっておりませんので、そこら辺のところは弱いという意見も出ました。ただ、小中の連携の部分も含めまして、小学校の歴史、例えば今、市川先生がおっしゃった小学校の教科書を、もしも東京書籍であった場合、持ってきたとしても、十分それにずれはなく帝国書院でも対応できるのではないかとという話で、委員としてはまとまりましたというか、そういう意見がありました。ただ、そこら辺のところにつきましては、本当にもう少し私どももやはり研究すべき点かなと。特に、本当に小中の連携っていう部分、いろんな面、授業だけではなくて中1ギャップとかの面につきましても、市川先生からも出されている点については大事にしていく必要があるかなと思います。ただ、今回につきましては、今のような形、話で、帝国書院においても、それで不具合になるということはないのではないかとという意見でありました。以上です。

**市川委員** 再質問していいでしょうか。

**小澤会長** どうぞ。

**市川委員** ありがとうございます。非常にわかりやすい御回答をいただきました。ただ、実際私も記録を比較してみたり、小学校の現在の教科書と比較してみたりしまして、最初のトラベルでずっと小学校で出てくるのが流れとして書いているのは、両社ともやっているんです。それが、各単元に入ったときどうかっていうと、片方は、各単元に入ったときに、その最初見た流れは流れとして終わっちゃう。もう一方は、各単元へ持ってきて、この時期のものはここだと。小学校時代の資料等を歴史的に並べて位置づけているんです。これは、基礎、基本の定着という点ではかなり配慮されているなど、今までにあんまり見ない例じゃないかなと、こういう感じがしました。

私は、小中の関連ということを非常に大事に考えていけないといけないかなと思うんです。職員の中にも、中学しか経験のない中学の社会科の先生がいるんです。ですから、小学校でどこまでやっているのか、どういうものを使ってどうしているのかっていうものがね、それこそ小学校の本当に教科書を取り寄せない限りわからないんですよ。その点を、小学校は小学校からもう一生懸命や

っているのについていう感じになっちゃうといけないから、私ども教育委員会として応援するとすればね、やはりそれらを十分加味した教科書を採用してやるのが現場の先生方への応援にもなるかなという思いもあるんです。したがって、子供のこと、あわせて先生方のことを考えて、もう少し小中の関連ということをね、大事にさせていただけると大変ありがたいなと、こんな感想を持っているところであります。

いろいろ御説明ありがとうございました。調査委員会が一生懸命やってくださったのに反対しているわけではありません。今後とも、やっぱりそこら辺は大事にしていく必要があるんじゃないかなと、こう思っただけの発言です。以上です。

**小澤会長** また、受けとめてやっていただけると思います。

**社会科調査研究委員長** ありがとうございます。

**小澤会長** 質問、意見、よろしいでしょうか。

質疑、終結し、選定に移ります。

社会（歴史的分野）は、帝国書院の教科書を選定するという点でよろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

**小澤会長** 異議なしと認め、社会（歴史的分野）は、帝国書院の教科書を選定することといたします。

続いて、公民的分野の報告をお願いいたします。公民的分野は、7社から教科書見本が送付されております。委員長さん、よろしくお願ひします。

**社会科調査研究委員長** では、お願いします。公民的分野では、7社の教科書を研究させていただきました。最初は、5社についてのすぐれている点を報告します。

1社目は、教育出版です。24ページを参照ください。政治や経済の複雑な仕組みや概念を視覚的にわかりやすいイラストや図解で紹介し、生徒の意欲を高められるよう大変適切に工夫されています。例は、教科書77ページ、「小選挙区制と比例代表制のしくみ」です。

2社目は、清水書院です。25ページを参照ください。個人と社会のつながりについて個人の尊厳と人権尊重の立場から考察させ、現代社会で生活する生徒が主体的に人権の意識の意義を認識できるように大変適切に構成されています。例は、教科書20ページ、21ページ、「ともに生きる社会をめざして」です。

3社目は、日本文教出版です。27ページを参照ください。毎時間の学習の終末に「学習の確認と活用」を設け、語句を使って説明することを通して自分の考えを表現することができるよう適切に配慮されています。例は、教科書115ページ、「三権分立」です。

4社目は、自由社です。28ページを参照ください。日本古来の伝統や文化、国防・領土問題に関する記述や資料が豊富に掲載されており、生徒が社会の変容や歴史的背景をつかみやすいように適切に配慮されています。例は、教科書148ページ、149ページ、「わが国の領土に関する問題」です。

5社目は、育鵬社です。29ページを参照ください。1時間の授業内容が見開き2ページにわかりやすくまとめられており、問題解決型の学習の流れとして「つかむ」、「調べる」、「まとめる」という観点が明確に位置づけられるよう適切に工夫されています。例は、教科書50ページ、51ページ、「国民主権と天皇」です。

続いて、残りの2社、東京書籍と帝国書院について報告します。まず、東京書籍についてです。15ページを参照ください。東京書籍は、特にすぐれている点が7点あります。そのうち、2点について報告します。

1点目は、見開き2ページで1単位時間を原則とし、平易な本文記述を心がけ、知識や概念が過不足なく盛り込まれ、図表や写真等を通じて視覚的にも生徒が理解しやすいよう大変適切に工夫さ

れています。例は、教科書132ページ、133ページ、「労働の意義と労働者の権利」です。

2点目は、小学校や地理・歴史分野との円滑な接続に工夫が見られ、公民の基盤である人権・憲法学習から政治、経済へと単元が配列され、既習内容と関連づけながら学習が深められるよう大変適切に構成されています。例は、教科書1、5、33ページなどです。

次に、帝国書院についてです。26ページを参照ください。特にすぐれている点が8点あります。そのうち、3点について報告します。

1点目は、1時間の学習内容が見開き2ページに構成され、ページの最後には「確認しよう」、「説明しよう」の項目を設け、学習内容の確認とともに自分の言葉で内容を説明し整理できるように大変適切に工夫されています。例は、教科書128ページ、129ページ、「働くことの意義と労働者の権利」です。

2点目は、実社会で活動している人々の生の声を多数取り上げ、連続コラム「パン屋の経営者になってみよう」を設け、生徒が企業経営を疑似体験し、意思決定をしながら主体的に課題を追究していくことができるよう大変適切な配慮がなされています。例は、教科書121ページ、123ページ、125ページなどです。

3点目は、単元構成が身近な問題からよりグローバルな問題へと展開され、追究が深まるとともに、最後には生徒みずからの社会参画につなげられるよう大変適切に配置されています。例は、教科書32ページ、「中学生が地域社会を動かした」です。

帝国書院は、他社に比べ、導入部分に生徒の興味を引く資料があり、そのためにどの生徒も興味・関心を持って1時間の問題把握がしやすくなっています。また、追究の最後に「確認しよう」、「説明しよう」の項目があり、生徒の実態に即してのまとめや整理ができるようになっています。現場や委員の声も、「歴史的分野と同様に生徒が興味・関心を持って追求する姿が見られた」、「若い先生が狙いをはっきりさせて授業をすることができる」など、肯定的なものも多く聞かれました。

東京書籍と帝国書院は、僅差でありました。帝国書院のほうが、どの生徒も課題を追究していくことが比較的容易にできるのではないかという点や、若い先生はもちろん50代の先生方も教科書をもとに安心して授業を進められるのではないかという点、そして委員の中で一番問題点とされていた単元配列についても、今回改善を求めてきた点などの声もありました。そういう意見も加味をしまして、僅差ではあるが評価も上回っていますので、公民的分野は帝国書院を推薦したいと考えました。以上です。

**小澤会長** ありがとうございます。公民的分野の報告をいただきました。御意見等お寄せください。

それでは、質疑を終結いたします。選定に移ります。

社会（公民的分野）は、帝国書院の教科書を選定するという点によろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

**小澤会長** 異議なしと認め、社会（公民的分野）は、帝国書院の教科書を選定することといたします。

引き続き、地図の報告をお願いいたします。2社から教科書見本が送られております。お願いします。

**社会科調査研究委員長** 地図帳は、2社、東京書籍と帝国書院でございます。まずは東京書籍です。30ページを参照ください。特にすぐれている点が3点あります。

1点目は、一般図や主題図といった地図とともに写真やグラフなどの資料を豊富に掲載し、さまざまな事象を具体的にイメージしやすくなるよう大変工夫されています。例は、地図帳98ページ、『写真』神戸旧外国人居留地 京都奈良を訪れた観光客。

2点目は、関連する資料の参照ページを示す「ジャンプ」を設け、複数の資料を関連させることができるよう大変工夫されています。例は、地図帳23、24ページ、『地図』東アジア」です。

3点目は、写真を豊富に掲載し、実際に触れる機会が少ない世界も、生徒が地域のイメージを持ちやすくなるよう大変工夫されています。例は、地図帳22ページ、「古代・中世の陸上・海上交通」です。

次に、帝国書院です。31ページを参照ください。特にすぐれている点が7点あります。そのうち、東京書籍を上回った4点について報告します。

1点目は、1つの図の記載要素を減らし、複数の図から総合的に読み取ることができるよう大変工夫されています。地図帳113ページ、「諏訪湖周辺の工業地域」です。

2つ目は、資料図の導入部にイラストや絵記号などを用いた大観図「ながめてみよう」を設け、日本の諸地域の特徴をつかむことができるよう大変工夫されています。例は、地図帳85ページ、「『大観図』ながめてみよう 九州地方の自然・産業・暮らし」です。

3つ目は、国名等の赤文字には黒の縁取りをしたり、国を塗り分ける色やグラフ等の色を混合しにくい配色としたりして、誰にとっても識別しやすい工夫が大変適切にされています。例は、地図帳19ページ、「『地図』アジア州」です。

4つ目は、地形図を読み取るための具体的な手順を示したり、「地図を見る目」、「やってみよう」など、学習課題を設けたりして、生徒自身が地図を読み取る力を身につけられるよう大変工夫して構成されています。例は、地図帳61、62ページです。「地図を見る目 北から南へ土地利用の変化を確認し、多様な自然が広がっていることに着目しよう」などです。

地理的分野の教科書を東京書籍で推薦しましたが、地図帳が帝国書院となると、ねじれという心配もあります。そこで、委員会で検討しましたが、ねじれてしまう不具合はなく、帝国書院の地図帳が生徒にとってわかりやすく親しみやすいものとなっており、評価でも大きく上回っておりますので、地図帳は帝国書院を推薦したいと考えました。以上です。

**小澤会長** ありがとうございます。御質問等いただきます。お寄せください。

**市川委員** たびたび済みません。麻績村筑北村の市川でございます。地図帳と教科書のございました。おっしゃるとおりねじれというのは、いつもこの会合で話題になるんですけども、実際に使っている側からすると、地図帳は地理的分野だけじゃないんですよ。歴史的分野でも、あるいは公民的分野でも併用いたします。そんな意味で、本当に地図帳としてふさわしいものを選んでいただくことが、子供たちにとって非常にいいなあという思いをしております。私は今回の委員会、ねじれではあまり心配ないという結論を出していただいたことに敬意を表します。以上であります。

**小澤会長** ほかに御意見、御質問よろしいですか。

質疑終結いたします。選定に移ります。

地図は、帝国書院の教科書を選定するというところでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

**小澤会長** 異議なしと認め、地図につきましては、帝国書院の教科書を選定することといたします。委員長さん、ありがとうございました。

**社会科調査研究委員長** 長くなったついでに一言いいでしょうか、会長。済みません。ある委員が、「21の教科書や地図帳の調査は正直大変でした。しかし、調査を通して、とても勉強になりました。生徒たちのために、授業に早速生かしていきたいと思いました。」と私に話をしてくれました。大変な仕事を、あくまでも生徒たちのためにプラスになると献身的な努力をしてくださった副委員長以下11名のすばらしい委員の皆さんに感謝して、発表を終わりにさせていただきます。長時間ありがとうございました。

**小澤会長** それでは、数学の報告をお願いいたします。数学は、7社から見本が送付されております。委員長さん、お願いします。

**数学科調査研究委員長** よろしくをお願いいたします。

数学科では、次の3つの視点から7社の教科書を調査研究させていただきました。

1点目、今回の学習指導要領を受け、思考力・活用力の向上等の教科の目標からの配慮がなされているか。2点目、日常事象との関連等生徒の学習活動への配慮がなされているか。3点目、繰り返し学習、学び直し等の学習指導の配慮がなされているかという点であります。

教科書7社全てについて御報告をさせていただきますが、発表の順序につきましては、最初に7社のうち4社につきまして簡単に報告させていただきます。その後、特に検討しました3社について詳しく報告させていただきます。

それでは、報告書の33ページをごらんください。大日本図書「新版 数学の世界」についてすぐれている点を報告いたします。学習指導への配慮、3の(5)に関して、他教科の内容や学習した内容と日常生活との関連する題材を提示し、章末の「社会にリンク」や、巻末の「Mathful(マスフル)」で、数学と社会とのつながりを実感できるよう工夫されている点がすぐれています。

続きまして、34ページをごらんください。学校図書「中学校数学」についてすぐれている点を報告いたします。学習指導への配慮、3の(3)に関して、章末の「深めよう」では、学習したことをさらに深めたり広げたりできる内容を取り上げ、巻末の協同学習のページでは、日常的な課題や領域横断的・教科横断的な課題に取り組めるよう工夫されている点がすぐれています。

続きまして、35ページをごらんください。教育出版「中学数学」についてすぐれている点を報告いたします。学習指導への配慮、3の(2)に関して、章の初めに復習問題を扱い、具体的な場面で導入がなされ、課題意識をもって「学習のまとめ」や「練習問題」へ進むようになっており、既存内容をもとに学習の積み重ねと系統性を図れるよう工夫されている点がすぐれています。

続きまして、37ページをごらんください。数研出版「中学校数学」についてすぐれている点を報告いたします。学習指導への配慮、3の(2)に関して、「例」では内容を理解するための平易な具体例を示し、「反復」「確かめよう」では、例と同じタイプの反復問題を必要に応じて行い、「問」では、例の内容が確認できるようになっており、十分な演習量を確保し、基礎的・基本的な内容が確実に身につくよう工夫されている点がすぐれています。

次に、詳しく検討しました3社について報告いたします。32ページをごらんください。東京書籍「新編 新しい数学」のすぐれている点を3点報告いたします。「生徒の学習活動への配慮」に関して2点ございます。

2の(1)「例」の次に「たしかめ」を設け、「例」の内容の理解を確実にしてから「問」に進むスモールステップの構成にしており、個人差にも対応できるよう工夫されています。また、2の(2)学習のまとめりごとに「学習課題」を示し、学習に見通しを持ち、数学的活動に主体的、意欲的に取り組めるよう工夫されています。

学習指導への配慮に関して1点ございます。3の(3)、実生活や他教科の学習に活用する問題を全ての章末、巻末に掲載するなど、数学の有用性を実感できるよう工夫されています。以上3点が東京書籍のすぐれている点だと考えました。

続きまして、38ページをごらんください。日本文教出版「中学数学」についてすぐれている点を4点報告いたします。1の教科の目標からの配慮に関して1点ございます。2つ目の、数学的活動を通して学んだことを深めたり、発展させる学習を設けたりすることにより、数学的な考え方が身につくように工夫されています。

生徒の学習活動への配慮に関しても1点ございます。2の(2)、各単元では、言語活動を促す場

面を多く取り入れることにより、表現力を伸ばせるよう工夫されています。

学習指導への配慮に関して2点ございます。3の(2)、章末には、基礎的な技能の問題である「くり返し練習」、巻末には基礎的な内容を中心に振り返る「A問題」が設けられ、基礎的・基本的な定着が図られるように工夫されています。3の(3)、章末には数学的な見方・考え方を深める「とりくんでみよう」、巻末には、活用する力を伸ばす「B問題」が設けられ、数学の活用や個に応じた指導に生かせるように工夫されています。以上4点が日本文教出版のすぐれた点と考えました。

最後に、36ページをごらんください。啓林館「未来へひろがる数学」についてすぐれている点を6点報告いたします。

まず、1の教科書の目標からの配慮という点で、どの教科書よりも、小中の系統性を意識して学習できるように、別冊に各単元の既習内容の学び直しを位置づけるなど基礎・基本の定着を図れるよう工夫されています。

生徒の学習活動への配慮に関して2点あります。2の(1)、各単元の「千思万考」、巻末の「ひろがる数学」に加え、ヒントとなるキーワードや吹き出しが適切に配置されており、生徒の多様な見方・考え方や処理の仕方を生み出せるよう工夫されています。また、2の(2)、根拠を明らかにし筋道立てて説明したり、自分の言葉で伝えたりする場面が適切に配置されており、お互いの考えを深め合えるよう工夫されています。

学習指導への配慮に関して2点あります。3の(4)、条件がえをする問題が各所に配置されており、「見方・考え方」の看板で「条件がえをする」と表記することで、生徒が問題の意図を理解しながら、見通しを持ち筋道を立てて考えたり表現したりすることのよさがわかるように工夫されています。3の(6)、「基本のたしかめ」の「学習したこと」に、つけたい力を言葉で表記したり、学習内容のポイントを吹き出しで示したりする等、まとめや評価の観点が明確になるよう工夫されています。

全体的な特色に関して1点あります。1つ目の、スパイラル学習による基礎・基本の定着と、利用・活用の場面を多く取り入れることで思考力・判断力・表現力が養えるようどの教科書よりも工夫されています。

以上の6つの点から、数学科の調査研究委員会では、啓林館の「未来へひろがる数学」を推薦したいと思います。以上です。よろしくお願ひします。

**小澤会長** ありがとうございます。御質問等お寄せください。

**市川委員** 発言が偏って申しわけないですが、1つだけ少々教えてください。別冊、教科書の別冊という考え方ね。実際に見せていただきますと付録みたいについていますけど、私は啓林館の数学の教科書がやっぱり数学の中ではすぐれているなあとは思いますが、教科書というものに、何か参考書みたいな別冊みたいなものをつけて出すということは、私どもの時代になかったものですから、実際に学習をしている子供たちにとってどうなのか。その辺をもし、いろいろ話題になっていたら教えていただきたいんです。別冊なくしちゃったとか忘れたとか、やっぱり教科書には教科書としてのひとつの権威があるものですから。教科書における別冊というものを調査委員会の皆さんがどう評価なさったのか、ほかにあんまり例を見ないことですので、御説明をいただけるとありがたいなど、このように思います。以上です。

**小澤会長** お願いします。

**数学科調査研究委員長** お願いいたします。正直申し上げまして、別冊のことは調査研究委員会では全く問題になりませんでした。

**市川委員** そうですか。

**数学科調査研究委員長** というのは、別冊がどうのこうのというより、やはり啓林館の教科書が一番

数学的な見方、考え方、思考力、判断力を養う上ではすぐれている。なので、別冊どうのこうのというか、そういう問題ではないという多分観点だと思わなければならない、その点に関しては全く問題になりませんでした。ただ、市川先生がおっしゃいましたように、私も自分で教えていまして、教えていた当時はこういう別冊とかありますと、これをなくしちゃったりとかする子が確かにおります。今まで教科書に別冊というのはなかったです。ちょうど改訂のときやなんか余分に配られるやつがあるんですよね。そういうときに配られるやつ、別冊を配って授業をやると、「先生なくしちゃった。」っていう声がかつて聞かれました。そういう点では確かに市川先生の御指摘のとおりだなとも思いますが、ただこの別冊も、どちらかという日常事象との関連づけようということとトピックを設けておりますので、常時扱うという形ではないと思うので、そのときだけ扱うということになると思うので、今回の場合は問題ないのではないかと個人的には考えております。以上です。

**市川委員** ありがとうございます。

**小澤会長** それでは、よろしいでしょうか。

質疑を終結し、選定に移ります。

数学は、啓林館の教科書を選定することよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

**小澤会長** 異議なしと認め、数学は、啓林館の教科書を選定することといたします。委員長さん、ありがとうございます。

**数学科調査研究委員長** どうも、ありがとうございました。

**小澤会長** では、ここで10分間の休憩を取りたいと思います。35分に再開にさせていただきます。お願いします。

〔休憩〕

**小澤会長** それでは、協議を再開いたします。理科の報告をお願いいたします。理科は、5社から教科書見本が送付されております。委員長さん、お願いします。

**理科調査研究委員長** よろしくをお願いいたします。それでは報告をさせていただきます。

理科委員会では、5社の教科書について調査研究を行いました。採択基準1の教科の目標からの配慮については、日常生活との関連・探求的な学習過程・学力向上への工夫等、5社全てに配慮がなされておりました。

続いて、採択基準2の生徒の学習活動への配慮、基準3の学習指導への配慮について説明、報告をさせていただきます。各社ともに、観察・実験時における危険防止についてマーク表示や色別表示など、いろいろな工夫がなされています。また、ユニバーサルデザインへの配慮も十分になされています。では、各社ごと報告をさせていただきます。

まず、40ページ、大日本図書について報告いたします。この教科書の特徴は、3の(4)にあるように全ての学年の巻末に化学実験を行うための注意点を掲載しているということです。また、この巻末の前のページになりますけれども、数値の扱いやグラフの活用についても丁寧に対応されています。

続いて42ページ、教育出版について報告します。この教科書の特徴は、2の(4)にあるように観察・実験のページにあります。他社の教科書は、2ページにまたがり左から右へと手順の流れを配置しているところが多いのですが、教育出版は1ページに収まるように、上から下への配置になっています。目の動きが、これがそうですけれども、上から下へというふうに1ページの中に配置されています。

続いて、学習指導への配慮がよくなされている学校図書と啓林館の2社について報告いたします。

最初に41ページの学校図書です。3の(3)にあります。生徒の興味・関心を高めるために「チャレンジ」として発展的な内容の観察・実験を紹介しています。さらに、コンピュータマークが表示されていて、データの処理、コンピュータ利用につながるようなICT教育にも配慮されています。(5)ですが、観察・実験の次のページに「結果例」が示され、観察・実験がうまくいかなかった場合やできなかった場合の参考にできるように配慮されています。(6)についてですが、公式の習得として「例題」や「問い」が設けられ、学力向上に向けて工夫がされています。

次に43ページ、啓林館です。3の(2)についてですが、生徒がつまづくことが多い数学の計算について全ての学年の巻末に取り上げてあります。これは、この教科書の特徴であります。続いて(3)です。「考えてみよう」「話し合ってみよう」「活用してみよう」「予想してみよう」の場面が設定されています。具体的・体験的な活動を通し思考が深まり、提案力の基礎が培えるよう工夫がされています。最後、(6)の別冊「マイノート」になります。これがこの教科書会社の大きな特徴となっております。先ほど数学でもありましたけれども、これがその別冊になります。問題集やワークブックに相当するものです。教科書の内容とリンクされているので教科書を参照しながら書き込むことができたり、書くことによって科学的な思考力や表現力を高めようとしたりする工夫がされています。

最後に39ページ、東京書籍について報告します。この教科書は、生徒の学習活動への配慮として、(1)、(2)にあるように学習の系統性を重視するとともに、生徒の素朴な見方や考え方を揺さぶりながら単元の目標に近づけるといった、生徒の主体的な取り組みを促しながら科学的な思考力や表現力が育つように配慮がされています。(3)についてですが、各章の冒頭にダイナミックな写真資料を用いています。例えば、これは金、ゴールドの再生の写真であります。全ての生徒に学習刺激を与え、主体的に取り組めるよう配慮がされています。また、画像がより鮮明となるように紙質にも配慮がなされています。(4)についてですが、巻頭に「理科室の決まり」のページを設けて、生徒に危険防止を促すよう配慮がされています。理科の授業では、年度初め第1時に理科室の使用の決まりについて扱います。その授業にも対応でき、他社にはないものであります。(5)についてですが、1年生の文字サイズを大きめにしたり、紙幅を5ミリ広くしたりと読みやすくなるような配慮がなされています。「学習指導への配慮」では、(2)にあるように、「学びを活かして考えよう」を設定し、内容の理解を深めたり、連続した学習が展開できるよう構成に配慮がされています。(5)ですが、各学年の巻末にペーパークラフトが付録として配置され、平面では把握しにくい内容の指導に役立つよう工夫がされています。全体的な特徴として、学習の導入や観察・実験の目的を重視し、生徒が主体的な学習を通して自然に科学的な思考力や表現力を育成できるようすぐれた編集がなされていると考えております。

以上、報告させていただいたものを総合的に判断し、調査研究委員会として、東京書籍を推薦させていただきます。以上であります。

**小澤会長** ありがとうございます。御質問等、お寄せください。

**赤羽副会長** 済みません、松本市の赤羽ですけれども、今報告をしていただいて、私も実際に教科書を見せていただいて、やはり東京書籍の教科書は非常にすぐれていると思いました。ただ、ここに書かれています全体的な特色の一番最後のところに科学的事象が遍在することや有用性を実感できる構成という、この中身について少し具体的に教えていただくとありがたいと思いますので、よろしく願います。

**理科調査研究委員長** 例えば、これは東京書籍の1学年の教科書でありますけれども、例えば物の調べ方についてのページでありますけれども、物質を見分けるにはどのような方法があるのだろうか、そういうことについて3つ推測してみようということで、金属でできているもの、あるいは、それ

にかかわって、どちらが鉄でどちらがアルミニウムであろうとか、そういう推測の手順、そういうようなこと、あるいは、これは大気圧のページでありますけれども、大気圧について学びを生かして考えようということで、身近な道具で大気圧を体験するような、そういう実験のページが参照されております。こういうような部分が、科学的な有用性を実感できるというふうに調査研究委員会では考えております。

**赤羽副会長** ありがとうございます。

**小澤会長** そのほか、よろしいでしょうか。

それでは、質疑を終結し、選定に移ります。

理科は、東京書籍の教科書を選定するというところでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

**小澤会長** 異議なしと認め、理科は、東京書籍の教科書を選定することといたします。委員長さん、ありがとうございます。

**理科調査研究委員長** ありがとうございます。

**小澤会長** 次に、音楽の報告をお願いいたします。初めに、音楽（一般）です。2社から教科書見本が送付されております。委員長さん、お願いします。

**音楽科調査研究委員長** よろしくをお願いいたします。

音楽では、音楽一般・器楽合奏ともに教育出版と教育芸術社、2社の教科書を調査研究いたしました。

初めに、私どもの調査・研究の視点について3点お話しさせていただきます。

1点目、音楽は、学校全体を支えるエネルギーとなる教科です。目の前にいる生徒たちがその教科書を通して音楽への興味・関心を高め主体的に学習に取り組めるかどうか、子供たちの姿を思い浮かべて検討させていただきました。2点目、1年生が45時間、2・3年生がそれぞれ35時間と限られた授業時数の中で、学習指導要領に示された内容をバランスよく学習できる教科書であるかどうか、「音楽を愛好する心情を育て、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う」という教科の目標を達成していける教科書であるかどうか。3点目、音楽の授業を1人の教師が担当している学校が多く、若い教師から経験豊かな教師までさまざまです。また、学校規模や生徒数にも違いがあります。それぞれの教師が教えやすく、扱いやすい教科書でありたい、そんな願いも込めて検討させていただきました。

それでは、「音楽一般」から御報告いたします。44ページをごらんください。

教育出版の「中学音楽 音楽のおくりもの」について、すぐれている点について御報告いたします。

生徒の学習活動への配慮について2点ございます。2の(3)、創作の学習のコーナー「音のスケッチ」では、リズム創作や太鼓のための音楽づくりについて具体的な手順が示され、生徒の主体的な学習活動がなされるよう配慮されております。2の(4)、越天楽・歌舞伎・能といった我が国の伝統的な音楽を扱う学習では、鑑賞の学習に加えて、模倣して演奏したり、身近な楽器で演奏したりしながら、楽曲のよさを感じ取れるよう工夫されております。

学習指導への配慮について、1点ございます。3の(4)、生徒の興味・関心が深まるよう、指揮や発声、身近な楽器の基礎的な表現といった多様な音楽活動に触れるコーナー「Let's Try」「Let's Sing」が設けられております。以上3点でございます。

次に、45ページをごらんください。教育芸術社の「中学生の音楽」について、すぐれている点について御報告いたします。

1の教科の目標からの配慮という点で、学習指導要領に示されている共通事項との関連をもてる

ように、「音楽学習MAP」に「学習の窓口」として「音楽を形づくっている要素」が、記号を用いて非常にわかりやすくまとめられ、生徒の興味・関心を高められるように十分配慮されております。

生徒の学習活動への配慮について2点ございます。2の(2)、題材での学習内容を詳しく図解して知識を補ったり、学習の観点をより具体的にしたりするコラム「ここが分かればGrade Up!」が設けられ、旋律と強弱のかかわりなど生徒が興味・関心を高めながら学習できるように、大変工夫されております。2の(3)、創作の学習では、学習の目標や学習内容が示され、「My Melody」「Let's Create!」のコーナーも設けられ、生徒の実態に応じて個別学習でもグループ学習でも創作活動ができ、主体的に取り組める工夫がされております。

学習指導への配慮について、2点ございます。3の(1)、小学校や前学年での学習内容を繰り返し学習できるよう「BINGO GAME」「RHYTHM GAME」といったコーナーが配置され、共通事項を支えとした学習によって基礎的・基本的な内容が身につくよう配慮されております。3の(4)、我が国の伝統的な音楽を扱う題材では、模範演奏や身のこなしをまねして表現をしたり音楽文化に触れたりして、そのよさを味わいながら興味・関心を高められるよう配慮されております。

4の全体的な特色では、すっきりとした紙面で、重要な学習項目が優先的に目に入ってくるよう工夫されており、ユニバーサルデザインに十分配慮がされております。以上6点でございます。

以上の点から、音楽調査研究委員会といたしましては、教育芸術社の「中学生の音楽」を推薦したいと思っております。

**小澤会長** ありがとうございます。質問等、よろしく願います。

なしと認め、選定に移ります。

音楽(一般)は、教育芸術社の教科書を選定するという点でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

**小澤会長** 異議なしと認め、音楽(一般)は、教育芸術社の教科書を選定することといたします。

引き続き、音楽(器楽合奏)の報告をお願いいたします。2社から見本をいただいております。願います。

**音楽科調査研究委員長** 続いて「器楽合奏」について御報告いたします。46ページをごらんください。

まず、教育出版「中学器楽 音楽のおくりもの」について、すぐれている点について御報告いたします。

生徒の学習活動への配慮について2点ございます。2の(1)、「リコーダー」を扱う教材は、小学校での学習の積み重ねを考慮して、アルトリコーダーを扱わない学校においては、ソプラノリコーダーを使用しても学習が深まるように工夫されております。2の(5)、楽器の紹介や奏法が写真や図版で丁寧に示されていたり、そのページに必要な楽器の運指などが余白に掲載されたりして、演奏に必要な情報がほかのページを参照することなく理解できるように工夫されております。

学習指導への配慮について1点ございます。3の(5)、楽器の持ち方や奏法などについて写真を参照するようにしたり、リコーダーの運指やギターのコード表が折り込みページに掲載されていたりして、必要な情報がまとめられております。以上3点でございます。

次に、47ページをごらんください。教育芸術社の「中学生の器楽」について、すぐれている点について御報告いたします。

生徒の学習活動への配慮について3点ございます。2の(2)、「ここが分かればGrade up!」など、より高度な演奏を実現するためのヒントが掲載され、生徒の演奏技能に応じて学習できるよう工夫されております。2の(3)、我が国の伝統的な音楽も含め、ミュージカルや映画音楽、

ラテン音楽などさまざまなジャンルから合奏教材が適切に配置されており、多様な音楽に触れながら、生徒が主体的に楽曲選択できるように配慮されています。2の(4)、楽器ごとに代表的な鑑賞曲が示されたり、創作活動も取り入れたりして、生徒が「この曲を自分で演奏してみたい」「琴を使って曲を作ってみたい」と意欲を高めて多様な音楽活動を実現できるように工夫されています。

学習指導への配慮について2点ございます。3の(1)、「Let's Play instruments!」のセクション(区分)では、リコーダーやタンブリン・シンバル・ボンゴ・カウベル等の打楽器、ギター、琴などの特性や基本的奏法を理解できるように多くの楽器について掲載されており、その中からその学校が所有している楽器を選んで扱えるように配慮されています。また、「アンサンブルセミナー」等の発展的なセクションの学習につなげられるよう題材の配列が工夫されています。

3の(6)、例えば「さくらさくら」という楽曲では「いろいろな奏法による音色の違いを感じ取り、互いのパートの音をよく聴きながらアンサンブルしましょう」といった教材の特性と音楽を形づくっている要素とをかかわらせた学習目標を掲載し、目指す生徒の姿が明確になるように配慮されています。

4の全体的な特色といたしまして、白地を基本として、必要な情報に注目できるよう配色や文字のポイントが工夫されています。また、楽譜の大きさが見やすく、掲載されている写真も演奏する姿勢や楽器の構え方を確認しやすい角度で撮影されており、全ての生徒が視覚的にもわかりやすい細かい配慮が見られます。以上6点でございます。

以上の点から、音楽調査研究委員会といたしましては、教育芸術社の「中学生の器楽」を推薦したいと思います。

**小澤会長** ありがとうございます。器楽合奏、御質問でございますでしょうか。

**赤羽副会長** ちょっと教えてください。特に質問云々というんではないんですけども、特に中学の音楽等は、例えば、松本市にもあるんですけど、山間部のね、小規模校においては、なかなか人数が少ない中で多様な表現とか豊かな音楽活動っていうのはね、なかなかうまくいかない面が実際的にはあるのかなあとと思います。そういう面で例えば教育芸術社の、今説明して下さった2の(2)、(3)、(4)等にかかれている、例えば(2)では、生徒の演奏技能に応じて学習できるとか、(3)の生徒が主体的に楽曲選択ができるとか、(4)の多様な音楽表現が実現できるというような、こういう項目が、割合少数人数への配慮みたいな形につながるというふうに理解していいということですよ。その辺ちょっと教えていただけたらありがたいところです。

**小澤会長** お願いします。

**音楽科調査研究委員長** さまざまな楽曲や楽器の扱い等について幅広く掲載されていますので、教科書に載っている全てを学習することは不可能ですので、学校の実態や、その学校が持っている楽器を使った可能な学習が選択でき、また生徒の興味・関心に応じても選択ができるようなことに配慮されています。

**赤羽副会長** わかりました。

**小澤会長** ほかによろしいでしょうか。

質疑を終結し、選定に移ります。

音楽(器楽合奏)は、教育芸術社の教科書を選定するというところでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

**小澤会長** 異議なしと認め、音楽(器楽合奏)は、教育芸術社の教科書を選定することといたします。

委員長さん、ありがとうございました。

**音楽科調査研究委員長** ありがとうございます。

**小澤会長** 次に、美術科の報告をお願いいたします。美術は3社から見本が送られております。委員長さん、お願いします。

**美術科調査研究委員長** 美術科の教科書ですが、開隆堂、光村図書、日本文教出版の3社でございます。初めに、調査研究の視点について述べさせていただきます。

美術の教科書は生徒にとってすぐれた美術作品との出会いの場であってほしいと私たちは考えました。教科書に掲載されている作品から、生徒たちが美的感覚を磨き、豊かな情操を育ててほしいと願っています。2つ目に、美術の教科書に求めることは、豊かにイメージをふくらめ、発想・構想したり、創造的な技能を用いて、表現を深めたり、鑑賞したりしていくためのガイドブックの役割を果たすものであってほしいと考えました。このような視点から採択基準に照らし、調査研究した結果を報告させていただきます。

48ページをお開きください。初めに、開隆堂です。教科の目標からの配慮ですが、みずから発想・構想を生かして、表現・鑑賞ができるように配慮されています。また、美術の目標や学ぶ意義、自分と社会とのかかわりあいなどを考えさせられるように配慮されています。

生徒の学習活動への配慮です。2-(2)をごらんください。作者の言葉や、制作途中のメモ、アイデアスケッチなどを掲載した資料が充実しており、生徒が発想や構想を広げたり、表現主題を明確にしていったりしやすいように配慮されています。2-(3)、生徒作品として現代的な題材が数多く取り上げられています。多様なレイアウトで、生徒の美的感覚や情操を養うように配慮されています。2-(5)、絵、写真、図版、配色、コントラストなどについてですが、美術の教科書の場合、とても大切な要素になります。図版と文字のレイアウト、使われている色、配色、色彩、彩度や光の加減なども検討いたしました。教科書の1ページ1ページがすぐれたデザイン性を有し、生徒の創作意欲を高め、美的感覚を養う題材であってほしい、そんな観点からも調査研究をいたしました。

開隆堂は、色彩のコントラストがやや強すぎるという指摘もありましたが、レイアウトが多様で、生徒の美的感覚や情操を刺激するように工夫されています。

全体的な特色としては、制作過程で発想・構想の場面を図版で紹介し、一連の学習活動が見通しをもって理解できるように示されています。

次に光村図書です。49ページをごらんください。教科の目標からの配慮です。生活の中の美術の働きに関心を持ち、暮らしや社会を美しく豊かにしていこうとする心情が養われるように配慮されています。

2-(3)、生徒の内面へ訴えるような問いかけや、詩的な文章表現が多いのが光村図書の特色です。それらの文章表現は、生徒の心に訴えてくるものがあります。ただ、鑑賞や発想・構想の方向性を示し過ぎてしまう可能性もあります。生徒作品は身近なオーソドックスな作品が多いです。2-(5)ですが、生徒作品が他社に比べ、色彩が悪いという声もありましたが、芸術作品の鑑賞ページは、4ページの見開きのものもあり、迫力があり、興味を引きます。生徒作品に比べ、芸術作品は色彩がきれいです。

3-(3)、共感しやすい歌の歌詞や作品のイメージに合った詩が随所に取り上げられていて、学習意欲が高まるように工夫されています。それらの歌や詩が授業構想の指針になる可能性もあります。3-(5)です。各題材で生徒や作家の制作過程を細かい段階を追いながら掲載しています。発想・構想の方法や技法がわかり、多様な表現方法に触れることができます。

4の全体的な特徴としては、絵や図版と一緒に、詩や文章も用いて、美術への興味・関心が高められるようにつくられているのが特色だと思います。

最後に、私たち委員が推薦したいと考えている日本文教出版について報告をいたします。50ペ

ージをごらんください。

教科の目標からの配慮ですが、基礎・基本を重視して、確かな表現や鑑賞の力を育てるとともに、的確なわかりやすい文章を用いて、言語活動の充実にもつながるように配慮されています。

2－(3)です。表現の魅力が伝わるように題材名が工夫されています。生徒たちの主体性を促すようサブタイトルも工夫されています。また、他の2社に比べすぐれた生徒作品が多数掲載されています。新しい感覚を取り入れた現代的な作品から、身近なオーソドックスな作品までを取り上げ、生徒の個性に応じて多様な表現が展開できるように配慮されています。2－(5)、ページ全体が落ち着いた配色で、生徒作品も作家・芸術作品も色が美しく、図版や絵などのレイアウトも安定しているので、じっくり見ることができます。和紙を使用した見開き原寸大の浮世絵作品などは、深みのある色で引きつけます。金箔作品の色も落ち着きと深みがあります。

3－(1)と(2)に関してですが、テーマごとに見開きページで構成され、1つのテーマで構成された見開きページの中に、平面と立体作品が同時に掲載されるなど、多様な授業展開を可能にする構成になっています。また、他社は1年生で1冊、2・3年生で1冊の合計2冊で構成されていますが、日本文教出版は3冊で構成されており、小学校とのつながりも意識した3年間を見通した発展的な題材配列になっています。3－(6)です。各題材に示された「学びのねらい」が、具体的かつ適切で、評価の観点が明確になるように配慮されています。

全体としましては、他の2社より、教科書の版も横に2センチほど大きく、多くのすぐれた絵や図版が他社よりも大きく掲載されています。作家作品や芸術作品に加え、他社よりすぐれた生徒作品が数多く掲載されていて、生徒の学習意欲をかき立てるように配慮されています。生徒作品のレベルが高いという点、絵や図版のレイアウトや色彩、印刷などがすぐれているという点も美術の教科書として大切な要素であると考えています。

採択基準に照らして調査研究を進めてきた結果、美術科調査研究委員会として、日本文教出版を推薦したいと思います。

**小澤会長** ありがとうございます。御質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

質疑を終結し、選定に移ります。

美術は、日本文教出版の教科書を選定するという点でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

**小澤会長** 異議なしと認め、美術は、日本文教出版の教科書を選定することといたします。

**美術科調査研究委員長** ありがとうございます。

**小澤会長** ありがとうございます。

それでは、保健体育の報告をいただきます。保健体育は4社から送付されております。委員長さん、お願いいたします。

**保健体育科調査研究委員長** よろしくお願いたします。

まず、保健体育という教科は、保健分野と体育分野の学習に分かれておまして、教科書は保健分野の学習及び体育分野の体づくり運動と体育理論の学習を対象とし、つくられております。そして各社とも保健分野は保健編、体育分野は体育編という名称で編集されております。

調査・研究の視点でございますが、今回の教科書選定は学習指導要領の改訂に伴うものではございませんので、私たち教師が授業を行うときの指導のしやすさ、そして生徒の学びやすさという視点を大切に、東京書籍、大日本図書、大修館書店、学研教育みらいの4社の教科書の中から調査研究を進めてまいりました。

調査の結果でございますが、各社とも一長一短があり、さほど大きな差はつきませんでした。トータルしてみますと学研教育みらいが最も望ましいという結論に至りました。

それでは、報告書に基づきまして報告をさせていただきます。最初に2社について報告をいたします。報告書の52ページをごらんいただきたく思います。

大日本図書についてでございます。大日本図書の特色は、教科書サイズをワイド版にしたことにより、イラストや写真、図表が大きくわかりやすく掲載されておりました。そして、2の生徒の学習活動への配慮の(4)、(5)に記しましたように、本文及び図表説明文の文章表現が平易で、生徒にとって読みやすくわかりやすい記述となっているとともに、イラストの色使いをソフトにしたり、図をシンプルにしたりすることで大変見やすく、生徒の学習への抵抗感を少なくする配慮がなされておりました。

続きまして、東京書籍でございます。51ページをお開きください。2生徒の学習活動への配慮(1)に記しましたように、今回、東京書籍が他の3社と異なっていた大きな特色は、体育分野と保健分野の分野別の編集ではなく、学年別の編集になっていたということでありました。具体的に申し上げますと、他の3社が1年から3年までの全学年の体育編の後に全学年の保健編を記す、あるいはその逆に、全学年の保健編の後に全学年の体育編を記すという分野別の編集になっていたことに対しまして、東京書籍は、1学年の保健編の後に1学年の体育編というように、全ての学年を保健編の後に体育編をもってくる学年別の編集にしてありました。このことにつきまして、さまざまな意見交換がなされた中で、学年ごとの学習内容が明確であるというメリットがありましたものの、体育分野と保健分野のそれぞれの分野の学習の系統性や連続性が把握しにくいというデメリットもあり、委員の中では賛否両論がありましたことを報告させていただきます。

続きまして、学研教育みらいと大修館書店の2社につきまして、両社を比較しながら報告させていただきます。報告書は53ページと54ページを、項目ごとに比較しながらごらんいただきたく思います。

まず、1の教科の目標からの配慮という点にかかわりまして、学習指導要領の保健体育科の目標には、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図ると記されております。この目標に照らして体育編を見た場合に、大修館書店は体力の向上、学研教育みらいはスポーツの学び方や行い方に重点を置き、それぞれ編集されており、両社とも運動に親しむ資質、健康の保持増進のための実践力、あるいは体力の向上といった目標に十分配慮した編集となっております。

2の生徒の学習活動への配慮という点は、両者とも(4)に記載しましたように、大修館書店では文章表現が生徒にとってやさしく、特に顕著な例としましては、第二次性徴の学習の本文は大変わかりやすい文章で書かれているとともに、難しい用語はイラストを見れば理解できる構成になっておりました。これに対して学研教育みらいは、本文や図表の説明文の中に専門性の高い用語があり、生徒にとっては、用語の解説はあったもののやや難しい表現になっているという評価でございました。

3の学習指導への配慮という点では、両社の(1)に記しましたように、大修館書店では、各章の扉に学習内容について吹き出しを使って疑問形で記して、興味・関心を抱かせる工夫がなされておりました。これに対して学研教育みらいは、各学習ページの最初に学習の目標が端的に明記され、学習の見通しが持てるように配慮されておりました。

4の全体的な特色では、大修館書店は本文に薄黄色の地色を敷いて読みやすくする工夫がなされていたり、他の3社と比べ、独自性のある構成となっており、ページ数に軽重をつけ、体力問題など現代的な課題には多くのページを割いて学習が深められるように配慮されておりました。また、学研教育みらいでは、エクササイズのカラムが設けられ、学習の途中で自分のことについて考えたり、友達と意見交換をしたりできる工夫がなされておりました。

以上が調査研究結果報告書に基づく報告でございますが、冒頭に申し上げましたように、大きな差がない中で学研教育みらいが高い評価を得た理由につきまして、今回、私たちが調査研究の視点として大切にしたい指導のしやすさと学びやすさという視点から、学研教育みらいの教科書について、1時間の授業の流れに沿って説明させていただきます。

まず、学研教育みらいの教科書では、各学習の最初に「学習の目標」が明確に記されております。そして本文見出しの横には、文字の色を変えて、その時間の「学習問題」が明記されております。これは、教師と生徒が本日のねらいである学習問題を明確に共有できるための工夫や配慮であると評価されました。次に、「ウォームアップ」の欄を活用して本日の学習内容にかかわって考え合い、授業の導入が行われます。導入後は、本文やイラスト、図表を用いて前半の学習活動を行います。その後、各学習の中ほどに設けられております「エクササイズ」の欄を活用した学習活動を行います。このエクササイズの欄では、先ほども申し上げましたが、生徒は再び自分たちに返って身近な問題について考え合えるように工夫されているものであります。その後、後半の学習活動を行い、最後に、「活用しよう」の欄で本日のまとめができるという構成になっておりました。

学研教育みらいの大きな特色として、①学習目標が端的な言葉で明記されていること、②学習問題が文字の色を変えて明記されていること、③学習途中にエクササイズの欄が設けられていること。この3点は、学研教育みらい以外の他の3社には見られない工夫と配慮でありました。そして、これらの学習の流れに沿った構成は、まさに本県教育委員会が推奨しております、授業のねらい、めり張り、見届けの3観点が網羅されている構成であり、私たち教師が最も指導しやすく、生徒が最も学びやすい教科書であるという評価に至りました。

以上のことから、本委員会としましては、学研教育みらいを推薦させていただきたく思います。よろしく申し上げます。

**小澤会長** ありがとうございます。御質問申し上げます。

よろしいでしょうか。それでは、質疑を終結し選定に移ります。

保健体育は、学研教育みらいの教科書を選定するという点でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

**小澤会長** 異議なしと認め、保健体育は、学研みらい社の教科書を選定することといたします。

**保健体育科調査研究委員長** ありがとうございます。

**小澤会長** ありがとうございます。では、技術・家庭科の報告をお願いいたします。

初めに技術・家庭（技術分野）であります。技術分野は3社から送られております。委員長さん、お願いします。

**技術・家庭科調査研究委員長** よろしく願いいたします。

技術・家庭科では、次の3つの視点を重要視して調査研究を進めてきました。

1点目は、生活に必要な基礎的・基本的な知識・技能が身につく工夫があるか。2点目は、みずからの課題を乗り越えるような問題解決的な学習の充実が図られているか。3点目は、環境・防災・安全・キャリア教育など、生活や社会との関連、広がり大切にされているか、の3点であります。

それでは、まず技術分野について調査研究の結果を報告させていただきます。技術・家庭科の教科書は、長い間2社、東京書籍と開隆堂でしたが、前回の改訂から教育図書が加わって3社であります。

それでは、まず報告書の56ページをごらんください。まずは教育図書です。2の生徒の学習活動への配慮については、2の（1）魅力的な製作題材を多く取り入れ、関心・意欲を持って学習ができるように配列されています。2の（2）各章の中で生活と技術のかかわりを多く取り上げ、生活を工夫し創造できるように構成されています。また、2の（5）大きめの写真や図版を多く用い

て製作工程をわかりやすく示し、教科書を見ながらつくりことができるように配慮されています。

全体的な特徴としては、具体的な製作物を多く取り上げて、写真や図を用いて詳細に説明をし、生徒にとって製作・実習時の手引きとして役立つものと考えます。

次に、報告書の57ページの開隆堂をごらんください。1の教科書の目標からの配慮ですが、身近な問題を大変多く取り上げることで、生徒が生活を見直し、みずから考え主体的に学習に取り組めるように配慮されています。

2の生徒の学習活動への配慮で特徴的な部分は、2の(1)基礎・基本と参考・発展等の区分を明確に記述し、学習内容の精選と重点化が図れるよう題材が配列されています。また、2の(5)分かりやすい図版やイラスト、生徒の目線から見た写真を掲載することで、生徒の学習意欲が高まるように配慮されています。

3の学習指導への配慮では、3の(3)実習例として基本から応用的なものまで多様な例を取り上げ、生徒の実態や学校の施設・環境に合わせた学習ができるように工夫されている点が特色であります。

最後に、今回推薦する東京書籍です。55ページをごらんください。他社との違いや特徴的な点を中心に説明させていただきます。

まず、2の生徒の学習活動への配慮では、2の(2)生活と技術のかかわりを数多く取り上げることで、身近な問題から生活を工夫し創造することができるように題材が配列されています。2の(5)挿絵や写真、図表が大変鮮明で、適切な大きさで表示されています。また、実習例などは見開き2ページ分を使って大きく表示し、左から右へと製作の流れが詳しくわかるように配慮されています。

今回の東京書籍の教科書は、他の2社と違ってAB版というサイズを採用しているため、縦は従来と同じB版サイズですが、横がA版サイズで2.8センチ拡張した大きさになっています。広がったスペースを有効に活用し、資料や説明文などのサイズを大きめにして、大変見やすくまとめられています。

3の学習指導への配慮では、3の(5)に記載しました「Dマーク」のデジタルコンテンツについてであります。これは、東京書籍が新たに始めた、教科書とリンクしたWebページから無料で配信される視聴用のデータです。実験の動画や再現が難しい映像資料をパソコン上で動画とし見ることができ、生徒の興味・関心を高め、課題を明確にするための手だてとして有効に活用できると思われます。

4の全体的な特色としては、社会の中で活用されているさまざまな技術を取り上げ、技術にかかわる人の姿を扱うことで、技術を学ぶよさを感じられるよう配慮がされています。

また、全編を通じて、生徒が自分で調べたり確認したりしながら、基礎的な知識や技能を確実に習得できるように構成されており、主体的に問題を解決する能力を高められるように配慮されています。山間地等の小規模校においては、専門外の教員が技術・家庭科の授業を担当するケースもありますが、技術の授業を担当した経験が少ない教員にとっては、基礎・基本が指導しやすいように工夫されており、経験豊かな教員にとっては、発展・応用的な内容が豊富に記載されているため、生徒・教員双方にとって大変活用しやすい教科書であると考えられます。

以上のような理由で東京書籍の教科書を推薦させていただきます。以上です。

**小澤会長** ありがとうございます。御質問おありでしょうか。

質疑を終結し、選定に移ります。

技術・家庭（技術分野）は、東京書籍の教科書を選定するという点でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

**小澤会長** 異議なしと認め、技術・家庭（技術分野）は、東京書籍の教科書を選定することといたします。

続いて、技術・家庭（家庭分野）の報告をお願いいたします。3社から送られております。お願いいたします。

**技術・家庭科調査研究委員長** それでは、家庭分野についてよろしくをお願いいたします。

先ほど技術分野でも発表をさせていただきましたが、東京書籍、教育図書、開隆堂の3社から出版されております。

まず家庭分野の目標ですが、生活の充実に必要な基礎的、基本的な知識・技能を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活に展望をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てるというものです。家庭科はA家族・家庭と子供の成長、B食生活と自立、C衣生活・住生活と自立、D身近な消費生活と環境といった4つの内容から構成されています。

まず、59ページの教育図書をごらんください。前回の改訂より加わった教科書ではありますが、2の生徒の学習活動への配慮の2の（5）にも記しましたように、内容に関連した大変豊富なイラスト、図版が掲載されております。生徒たちが意欲的に学習できるように配慮されていると感じました。他の2社に比べてもイラストは大変充実しています。また、2の（1）短時間で実習できる題材も取り上げており、現在の学習指導要領で、他教科に比べて授業時間数の少ない技術・家庭科に対応できるように工夫されております。

4の全体的な特色では、内容ごとに学習問題が設定されており、つける力がはっきりしているシンプルな構成になっています。前回から加わった教科書ではありますが、家庭科分野にかかわる今までの実績・蓄積があり、内容も充実していることを感じました。

次に、60ページの開隆堂です。開隆堂は、3の学習指導への配慮の（5）に記してありますように、生活に密着した資料や図式が適切に配置され、作業の流れや手順、進め方がわかりやすいように配慮されています。資料となる写真や図表が大変豊富に掲載されております。さらに2の（4）や、4の全体的な特色にありますように、内容項目ごとにページの色調を統一してあり、生徒が見やすく調べやすいように配慮されております。

さらに、「持続可能な社会」「自立」「共生」をテーマに編集され、家庭や地域における中学生の役割なども資料として盛り込まれ、防災に関する事項も各内容のさまざまなところにちりばめられている点が特徴であります。

最後に、58ページの東京書籍ではありますが、委員会としましては、3社ともにそれぞれの特徴を生かしつつ甲乙をつけがたい部分もありましたが、これから述べる観点から、東京書籍を推薦したいと考えました。

家庭分野の学習では、生活の中から課題を見つけ、実践を通して解決し、解決をしたことを生活に生かしていくという問題解決的なプロセスを重視しております。その点で、東京書籍の教科書では、1の教科の目標からの配慮、3の学習指導への配慮の（1）に記してありますように、各内容の学習に入る前のガイダンスにおいて、3年間の家庭科における学習の見通しとともに問題を解決する道筋をわかりやすくまとめてあります。これから始まる学習により関心が持てると感じました。また、問題解決的なプロセスを大切に扱っております。

また、3の（3）にもありますように、「基礎技能のページ」や「練習題材」などの実践・体験的な活動を豊富に取り入れ、基礎・基本となる知識・技能が確実に身につくような内容で構成されております。技術分野と同様に「Dマーク」が配置され、デジタルコンテンツも豊富にそろっております。

さらに3の（6）にも記しましたが、目標を明確に提示し、「まとめよう」、「学習のまとめ」で自

己評価の観点により明確になるように工夫され、適切に配置されております。生徒が自分の学習を振り返りながら進められるように配慮がされています。

先ほど技術分野でもありましたが、教科書のサイズをAB版にしたことで、3の(5)や4の全体的な特色にもありますように、スペースを有効に活用して鮮明で豊富な写真を載せ、環境や防災などの視点を踏まえ、生活と密着できるような情報を記載し、「プロに聞く」というような欄を設け、職業観やキャリア教育の視点からも興味・関心を高められるように大変工夫されております。

以上の理由から、総合的に考えて東京書籍の教科書を推薦させていただきます。以上です。

**小澤会長** ありがとうございます。御質問等、お寄せください。お願いします。

**市川委員** 済みません、麻績村筑北村組合の市川でございます。感想ですが、先生、大規模校の校長先生でいらっしゃるながら、非常に小規模校あるいは山間地の実情もよく調査研究されて、つかんでいらっしゃるなということに敬意を表します。

採択とは直接関係ないかもしれないけれども、先ほど御指摘のとおり、本当に山間地あるいは小規模校等では、特に先ほどの技術もそうなんですけれども、専門外の人をお願いするとか、あるいは技術も3校を兼任するとか、それが今の実情でございます。そういう実情を踏まえたときに、教科書がいかにあるべきかっていう、そういう視点からも御検討いただいたことは、非常に大事な視点であり、特にこの地域では、そういう山間地小規模校も結構あるものですから、これからも大事に検討していただけるとありがたいなど、そんな思いで敬意を表しつつ感想を申させていただきました。以上です。ありがとうございます。

**小澤会長** ありがとうございます。ほかによろしいでしょうか。

質疑を終結し選定に移ります。

技術・家庭(家庭分野)は、東京書籍の教科書を選定することとしてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

**小澤会長** 異議なしと認め、技術・家庭(家庭分野)は、東京書籍の教科書を選定することといたします。委員長さん、ありがとうございます。

**技術・家庭科調査研究委員長** ありがとうございます。

**小澤会長** それでは最後になりました。英語の報告をいただきます。6社から送られております。委員長さん、よろしく願いいたします。

**英語科調査研究委員長** よろしく願いいたします。

さまざまな子供がいる中、今日の国際化社会において、英語を使って何ができるかが求められる英語教育になってきております。矢継ぎ早の改革の方向に、生きる力としての英語の力を培うため、日々の授業をどうよりよくしていけばいいのか、日々模索をしているところでございます。

これを踏まえ、今回の選定では、現学習指導要領の目標を大事にしながら、どの生徒にも理解可能であり、コミュニケーション能力の基礎を養うことができる、どの英語教師も指導する力が発揮され、生徒に英語の基礎力をつけていくことができる、を重要な視点とし、作業を進めてまいりました。

それでは、61ページからの報告書をもとにお話をさせていただきます。1の教科書の目標からの配慮では、6社とも言語や文化に対する理解が深められ、英語文化圏や他の国々、また日本の文化にも関心が向けられる題材が選定されております。また、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するさまざまな活動が取り入れられ、バランスよく4技能が養えるようになっております。また、今回の特徴として、言語の使用場面と言語の働きを大事に、既習の表現と4技能を

活用し、自己表現まで高める表現活動が位置づけられ、その段階的指導に工夫が伺われます。

教科書の体裁につきましては、6社中4社が横に広いAB版サイズで、スペースを有効に使用し、書き込みができたり、図や絵を多く取り入れ、練習や表現活動に取り組みやすくしたりする工夫が見られます。

それでは、それぞれの特徴やすぐれている点についてですが、63ページと65ページの学校図書「Total」と教育出版の「One World」について説明いたします。体裁につきましては、この2社が現行と同じB版サイズになっております。

「Total」ですが、他社が、1年の最初がbe動詞を使った導入になっていますが、小学校でなれ親しんだ表現から学習に入れるよう、一般動詞で導入する工夫があります。

次に、「One World」は、唯一各学年に別冊として「Essentials」というものが挟み込まれており、単語や文法事項を個人やペアで定着が図れる工夫が見られます。

次に、光村図書、三省堂、開隆堂の3社です。報告書66ページをごらんください。

光村図書の「Columbus 21」についてです。本文は、3年間を通して登場人物の中学生が展開するストーリーが、学校生活を中心とした、生徒が共感できる親しみの持てるものになっており、このストーリーと並行してさまざまな題材を扱っております。3年生の教科書に、外国の人は日本をどう見ているかというテーマのユニットがあり、季節の移り変わりが美しいという内容で、本文に上高地が登場しており、カラーの写真も掲載されています。全体として、場面や文脈を大切にしながら、自然な英語表現に触れることができるよう配慮されております。

報告書64ページをごらんください。三省堂の「New Crown」ですが、鋭角的な視点の題材が特徴で、学年が進むにつれて読み応えのある内容となっております。見開きページの「GET」で基本文を習得し、「Read」で長文を読む力をつけるようになっており、そこに読み深めのためのスモールステップの活動が工夫されております。次に「Write」で書くプロセスを学び、自分の力で英文を書いたり、あるいは「Speak」で話す力をつけたりできるよう構成されております。各学年に、複数の技能を統合的に駆使して課題に取り組む「Project」が設定され、技能の力だめしができるよう工夫が見られます。

全体として、基礎的な知識や技能を確実に習得できるよう、段階的に力がつく構成になっております。また、中高接続においては、文法力や長文読解力の向上に趣が置かれております。

報告書62ページをごらんください。開隆堂の「Sunshine」についてですが、特徴は、見開きページの構成が他社と異なり、左ページに、場面を設定した対話形式で基本文を理解し、「聞く」「話す」「Try」の順で学習すれば、基礎基本がおおよそ習得できる構成になっております。本文は右ページにあり、読む活動や基本文を使って書く自己表現活動が位置づいているなど、学習者や指導者にとって手順がわかりやすいつくりになっています。学習したことをもとに、4技能をそれぞれに個別集中的に育成する「POWER-Up」があり、さらに4技能を統合的に活用する「My Project」が各学期にあり、丁寧にスモールステップが示され、まとまりのある英文を書き進めることができる工夫が見られます。

全体として、指導の手順が見える、また、生徒にとっても、基本的な学習内容と活用にかかわる活動がはっきりしており、メリハリのある学習ができる細かい配慮があります。

それでは最後に、61ページの東京書籍の「New Horizon」です。各ユニットの語彙

や文法事項、本文の文量が生徒の学習段階に応じたものになっており、また、基本本文の定着が図れるよう基本練習が配置されております。

基本的に1年用では「Unit」で進み、途中から「Unit」間に場面別コミュニケーション活動の「Daily Scene」を配置し、学んだ言語材料を活用できる工夫があります。2・3年用では、「Unit」の初めに題材内容について簡単に扱う「Starting Out」が配置され、また、「Unit」の重要な基本本文を扱う位置づけがされております。「Starting Out」の次は対話形式の「Dialog」になっており、基本本文が繰り返し使用され、また、そこで学ぶ基本本文も練習を通して習熟を図ることができます。書く活動が新たに盛り込まれ、練習の成果を確認できるようにもなりました。次には、まとまりのある英文を読み取るページが見開きになっており、内容に関する質問も準備されております。Unit学習の終わりには、単元目標に対応した「Activity 1・2」で学習成果を確認できる工夫も見られます。各学期、自分の言葉で発信する「Presentation」が位置づけられ、「Hop-Step-Jump」と段階を踏んで表現活動が無理なくできるよう配慮されております。また、「Presentation」の後半2ページは読み物教材になっており、読む力の素地力の向上も可能としています。

全体として、基本的学習内容を習得できる構成になっており、また、習得したことを活用し、発信につなげる活動が無理なく配列されております。

研究委員会では、各学年140時間の授業で、どの子にも基礎基本の定着を図り、伸びる力も伸ばすことができるもの、また、そのとき、指導書や補助教材が充実していることも大事にしました。

以上を総合的に判断し、委員会では、東京書籍の「New Horizon」を推薦いたします。

次に、今後の学習指導要領改訂に伴う選定についてであります。急速に進む少子高齢化の中、英語で日常的なことについてコミュニケーションできる、英語を手段として仕事をするなど、それぞれに違いはありますが、実際に英語を使う力が求められている時代です。どのような教科書が子供の学びにとってよりよいか、英語教師の力量によるところが大きいわけですが、どの教科書を選定しようとも、教師と子供が英語という外国語学習を通して心を通わせ合いながら、英語でコミュニケーションするための基礎力を身につけ、地球に生きる市民として、堂々と胸を張って生きていくことができることを願っております。そのために、よりよい英語科の教科用図書を選定する研究委員会であることを願っております。

以上で、報告を終わらせていただきます。よろしく申し上げます。

**小澤会長** ありがとうございます。御質問、御意見等ございますでしょうか。

ないようであります。質疑を終結し選定に移ります。

英語は、東京書籍の教科書を選定することでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

**小澤会長** 異議なしと認め、英語は東京書籍の教科書を選定することといたします。委員長さん、ありがとうございます。

以上で、中学校全ての種目の選定が終了いたしました。委員長さんには、非常にわかりやすく納得のいく報告をしていただきました。おかげさまで、私たちは安心して、そして自信を持って選定ができたように思います。本当にありがとうございます。また、御報告をいただく中で、それぞれの教科にかける調査委員の先生方の思いも感じることができました。よろしくお伝えください。

ここで、全体を通しての質問、御意見があればお寄せください。

**三澤委員** 広丘小学校の三澤と申します。私、今6年生の子供たちと、時々数人のグループで一緒に給食を食べながら話をする時間をいただいています。そこでは、6年生として、今まで頑張ってきた、そして残りの小学校生活を大切に過ごしてほしいという願い、それから来年から向かう新しい生活、中学校での生活に向けての期待であったり不安であったり、そんなことを聞く場になりたいと思っております。子供たちと話している中で、まず出てくる心配事というのは中学校での学習です。難しい勉強に対してやっていけるのかどうか。それから今日も、一番小学校との連携といえますか、つながりを考えていただいた英語の学習、そういったものに対する不安がやはり出てきます。今日、各委員会でこの教科書を選ぶに当たって、委員の先生方、非常に丁寧にそれぞれの場から見ていただいて、今日は選定をしていただきました。その思いを、この場での皆さんの御意見をやはり小学校としても大事にしながら、子供たちにまたあすから向き合っていきたいと思っております。感想ですが、ありがとうございました。

**小澤会長** ありがとうございました。それでは、保護者代表の方、学識経験者の皆様、そしてお二人の校長会長の先生からも御感想等含めながら御意見いただきたいと思っておりますけれども、お願いします。最初に松本市保護者代表平塚さん、お願いします。

**平塚委員** 松本市PTA連合会からまいりました平塚と申します。今回、先生方のお話を聞かせていただいて、とても細かく、お忙しい中とても細かく分析をしていただきまして、子供にとってよりよい1冊を選んでいただき、本当に保護者代表として大変感謝しております。

今回この機会をいただきまして、私も図書館に行って教科書を開いてまいりました。どんなことが書いてあるのかなとめくるたびにわくわくしながら、ページをめくりながら見ました。ぜひ子供たちには、この先生方の選んでいただいた1冊を大事に見ていただいて、いろいろなことに興味を持って、そしてこの教科書をもとに学習意欲を高め、そして学力の向上につながってもらえればなというふうに思っております。

先生方には大変お忙しい中ですが、子供たちのためにまた御指導をよろしくお願ひしたいと思っております。今回はどうもありがとうございました。

**渡辺委員** 塩尻市保護者代表として今回この協議会に参加させていただきました渡辺と申します。初め教科書採択ということで、何をするのか全くわからない状態で、私なんか参加してよいのかという思いで参加させていただいていきましたが、今日の協議会に参加しまして、数あるたくさんの教科書を、1冊1冊丁寧に先生方に精査していただいていることを知りました。先生方もお忙しい中で一生懸命選んでいただいた教科書だと思います。子供たちは多分、こんなこととはつゆ知らず毎日使っていると思います。家に帰ったら子供には、大勢の先生たちが一生懸命あなたたちのために選んでくださった教科書だということを伝え、大事に使って一生懸命勉強していくようにということを伝えたいと思っております。ありがとうございました。

**小澤会長** 山本さん、お願いします。

**山本委員** 安曇野市よりまいりました山本です。お疲れさまです。私自身、高校生を筆頭に3人の子供がおりますが、これほど多くの教科書が出版されていて、このような会議をもって教科書が選ばれているということを初めて知りました。中学生の教科書となるともう難しくなってしまうなかなか目を通さないのですが、何十年ぶりに教科書に興味を持つ機会となりまして、勉強となりました。今、いろいろネットや塾や通信教材や、いろいろな学び方があるんですが、この学習の基礎となる教科書に興味を持って毎日子供たちが開いてくれることを望んでおります。ありがとうございました。

**小澤会長** ありがとうございました。征矢野さん。

**征矢野委員** 松本市の征矢野と申します。感想をお話しさせていただきますが、先ほどの調査研究委

員長さんの御報告を聞いておまして、本当に調査研究の委員の先生方、本当に専門の先生方が限られた時間の中で、採択基準に沿って徹底的に比較検討をして討議を重ねてこられたってということをお聞きしまして、本当に頭が下がる思いであります。その結果の採択でありますので、5年間この教科書を使っていくわけですが、先生方の指導の工夫によって子供たちに生きる力につながる、そういう学びができればいいなということを強く思っております。

採択に当たりまして本当にありがとうございました。

**木下委員** 塩尻の木下です。教科書を数十年ぶりに見る機会をいただきまして、わかりやすい文章と鮮明な写真で楽しく拝見することができました。私の子供時代にもこのような教科書があれば、もっと勉強が好きになったのではと思いました。

それと教科書から少し外れますがいい機会でもありますので、体育の教科の中にダンス科目ができ、先生方が指導方法に少し困られているとお聴きました。もし地域の皆様の支援を活用されるようでしたら指導のお手伝いに伺いたいと思いました。以上です。

**藤澤委員** 東筑摩郡の藤澤と申します。今回、指導要領改訂ではないんですが、教科書の採択の基準が改定され、初適用ということで、いろいろなニュースでこんなように書きかえられたと報道されている中、非常に興味もあり、また緊張感を持って新しい教科書を見させていただきました。出かけた帰りに安曇野中央図書館に寄って、全部の教科書に目を通させていただきましたが、大変時間がかかりました。委員長さんを初め調査研究の先生方は、本当に日々の授業、それから公務、何よりも部活の夏季大会、中信大会という大変忙しい中、本当に時間をかけて丁寧に調査研究し、今日もわかりやすくまとめて発表していただきました。本当にありがとうございました。こうして採択された教科書で、来年以降、子供たちが興味関心を持って、多種多様な学びを友とともにして、力をつけていってほしいなということを期待しております。今日は、ありがとうございました。

**内田委員** 安曇野市の内田と申します。今日は先生方お忙しいところ、調査研究の報告、本当にお疲れさまでした。

最近の教科書はですね、カラーページが多く、とても学習意欲をかき立てるようなものになっております。今日選ばれた教科書を用いていただいて、子供たちにより力がつく、またエネルギーを持った学習に役立てていただきたいと思います。今日は、ありがとうございました。

**藤松委員** 豊科南中学校の藤松と申します。本採択委員会に立ち会わせていただきまして、現場を預かる立場から感じたことを申し上げたいと思います。

今日ここにこうして集っている方々は、地域の代表の皆さんです。そして、教科書の調査研究委員会は現場教師の代表でございまして、その現場教師の代表が研究を重ねて提案したものについて、9教科15種類でしょうか、こうやって温かく受け入れていただいた。つまり、現場の皆さんの願いと我々の教育現場の願いがまさに一致していると実感しました。そんな姿から、単なる教科書の採択ではなくて、日々の教育活動へのまさに応援なのだと思います。いい教育環境を整えた上に、その教科書を有意義に使う、そういう責任がますます強くなりました。そういった意味で、本当に今日はありがたい会だと感じると同時に、これらのことを、仲間の教師に伝えていきたいなと思います。

研究委員の委員長先生方、本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。

**太田委員** 松本市の開智小学校の太田宏と申します。よろしくお願ひいたします。まずもって委員長さん、そして各委員の皆様方が本当に通常の業務に加えて、授業がたくさんある中、子供たちの学習を保障する教科書採択という1つの大きな仕事にですね、心血を注いでいただいて、今日こうして発表していただきましたことに感謝申し上げますとともに、敬意を表したいと思います。本当にありがとうございました。

諸先生方がおっしゃっていますが、本当に委員長先生方、丁寧にまとめていただいてわかりやすく言っていたなど、そんなことを思っています。選ぶに当たって子供の目線と教師の目線があったかな、そんなことを感じているわけですが、子供の目線で言えば、子供たちが自分たちで追求していけるだろうか、あるいは子供に課題がすわって子供の学びにつながるだろうかというような視点が数多くあったかな、そんなことを思います。それからまた、よく教科書を学ぶのではなく、教科書で学ぶて言いますが、1時間の課題がつかめて学習の展開が図れて、そしてまとめてに向けて進んでいって、最後、定着が図れるかなという、1時間の授業をいつも意識されて選んでいらしたなど、そんなことを感じながら、本当にありがたく思ったところです。

私自身が印象に残った言葉が、社会科の委員長が発言された、生徒のために、本当に主体的に委員の皆さんがやってくれたんだってということ、そして、自分自身の勉強になって明日からの授業に生かせるってということがあったと思います、委員に選ばれた先生方だけではないと思いますけれども、本当に学び続ける教師の姿をお聞きして、この地域にすばらしい先生方がいるなってということを感じたところです。

また、代表でお決めいただいた先生方には、本当に温かく採択をしていただいたことに御礼を申し上げます。ありがとうございました。

**三澤委員** 済みません。さっきは一学校の校長としてもものを述べさせていただきました。

先ほどからお話に出ていますように、1冊の教科書も同じ条件で使われるわけではない。本当に小規模校で少ない人数、そして免許を持たない先生もそれをお使いになって授業を進める、そういう重さがあるということ、また改めて感じさせてもらいました。校長会の中でも再度、話題にして考えていきたいと思っております。ありがとうございました。

**小澤会長** ただいまは温かな力がわいてくるそんな御意見、お話、ありがとうございました。皆様からいただいたお言葉、また今後に生かしていければと、そんなことを思います。

以上で、協議事項(1)平成28年度から使用する中学校教科用図書の選定についてを終了いたします。

ここで2点連絡事項があります。

1点目です。お手元の資料ですが、非公開資料が含まれておりますので取り扱いには十分お気をつけください。

2点目、当協議会の採択事務にかかわる情報の窓口は、事務局所在の塩尻市教育委員会であります。何か外部から問い合わせ等がありましたら、塩尻市教育委員会のほうへおつなぎいただければと思います。

各教科の調査研究委員長を初めとした調査研究委員の皆様には、短期間にもかかわらず、適正かつ公正な調査研究を行っていただきました。改めて感謝申し上げます。ここで、調査研究委員長さんの皆さんは御退席となります。本当にありがとうございました。お疲れさまでした。

(調査研究委員長退席)

## (2) 情報開示日の基本的な考え方

**小澤会長** それでは、協議事項の(2)情報開示の基本的な考え方について御協議をいただきます。事務局から説明をお願いいたします。

**太田教育総務課長補佐(兼)学校支援係長** それでは、会議次第と書かれました資料の3ページをごらんください。本協議会の情報公開につきましては、第1回及び第2回の協議会にて決定した内容等につきまして、事務局である事務局である塩尻市教育委員会において公表をすることとなります。

公開は塩尻市のホームページにて行うこととしますが、調査研究委員の名簿については、請求があった場合のみ、塩尻市の情報公開請求に係る手続きにより取り扱うことといたします。

本日、ここで御協議いただきたい点につきましては、情報公開の開示日についてでございます。

まず、長野県教育委員会からは、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令の規定によりまして、採択事務終了日を8月31日としているため、9月1日から情報公開をするとのことで聞いておりますが、採択地区や各教育委員会においては、それぞれの実情に応じて決定をしていただきたいとのことでございます。

また、他の採択地区及び教育委員会においては、こちらの3ページに記載してありますが、長水地区、北安曇地区、諏訪地区に確認を取りまして、この記載されているとおりの回答をいただいておりますので、御確認をしておいてください。

事務局といたしましては、県教育委員会の考え方や、これまでの松塩筑安曇地区の状況、また、県と同様の対応を取っている採択地区もあることから、8月31日を採択終了日、そして9月1日を情報公開の開示日とすることを提案させていただきたいと思っております。

なお、第1回協議会でも触れさせていただきましたが、各市町村の教育委員会で採択した教科書の公開日につきましては、それぞれの教育委員会において公開すること、また、決定に対して告示行為が行われますので、採択結果については、協議会の情報開示日以前に各教育委員会においては公表していただくことも問題ないと考えております。

ただし、採択結果の公表に伴って当協議会の資料を公表する場合につきましては、協議会の情報公開日以降としていただきますようお願いさせていただきたいと思っております。

なお、御参考までに、塩尻市教育委員会における教科書採択結果の公表につきましては、本協議会の開示日とあわせて行う予定でございますのでよろしく願いいたします。

以上です。御協議をよろしく願いいたします。

**小澤会長** ただいまの事務局の提案内容に質問等ございますでしょうか。

ないと認めます。事務局の提案のとおりでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

**小澤会長** 異議なしと認めます。では、事務局案のとおり、当協議会における採択事務終了日は、8月31日、9月1日に情報公開となります。

以上で協議事項は全て終了になります。落ちはないでしょうか。よろしいですか。

ないようでありますので、議長の任をおろさせていただきますけれども、御協力ありがとうございました。

#### 4 その他

**青木子ども教育部次長(兼)教育総務課長** ありがとうございました。円滑な議事進行によりまして、予定よりも早く終了できましたことを感謝申し上げます。

それでは、会議事項に戻りまして4番でありますけれども、事務局から諸連絡がございますので、申し上げます。よろしく願いいたします。

**丸山学校支援係主事** 塩尻市教育委員会事務局の丸山と申します。2点、申し上げます。

まず、会議前に旅費のほうをお渡しさせていただきましたけれども、まだ全ての方にお渡しできていない状況です。まだ受領していない委員さんにおかれましては、会議終了後お渡しいたしますので、しばらくお待ちいただければと思います。

2点目ですけれども、各市村教育委員会宛の書類を協議会終了後にお渡しさせていただきます。机の上に置かせていただければと思っておりますので、教育委員会関係委員の皆様におかれまして

は、必ずお受け取りの上、お帰りいただければと思います。事務局からは以上です。

**青木こども教育部次長（兼）教育総務課長** 以上2点、御連絡申し上げましたので、よろしくお願ひしたいと思います。本日、長時間にわたりまして御協議いただきまして、全ての教科についての選定をいただきました。また、5月から2カ月にわたりまして委員として御尽力いただきまして、事務局といたしましても、この場を借りまして感謝申し上げたいと思います。ありがとうございました。

## 5 閉会

**青木こども教育部次長（兼）教育総務課長** それでは全て終了いたしましたので、以上をもちまして、平成27年度第2回松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会を閉会とさせていただきます。本日は、大変ありがとうございました。